

# 五稜



第40号 (平成12年度)

函館市立五稜中学校生徒会

# 五稜中学校校歌

小島昌平 作詩  
酒井武雄 作曲

J-108-112



一 ひんがしに 吉城のやうな  
たなわの 五稜が丘に  
昔の 息吹きに 胸を  
形を ふるもまた 忘れ  
新しき 光に 立ちて  
大いなる 力 伸べさん

二 さくら花 一しと 仰ぎ  
友がよの 堅く 結びて  
うち鳥より 自主の 鐘の音  
ひと けいこに まことと 志の  
筆を けいこ 理想の 姿  
あめと 共に われら 守えあれ



# 行事から ~Part I~



校内体育大会



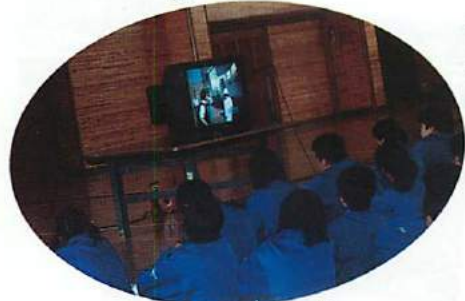
校内体育大会



春の遠足



春の遠足



校外清掃



中体連陸上壮行式

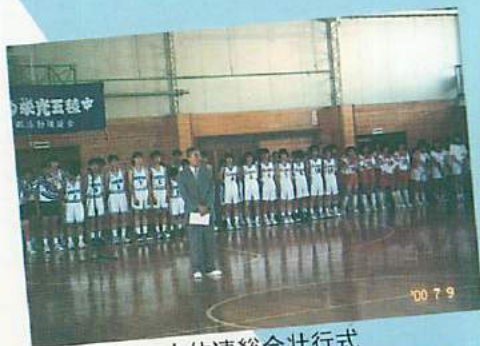


校外清掃



校外清掃

# 行事から ~Part 2~



中体連総合壮行式



中体連総合壮行式



中体連総合大会（バスケットボール）



中体連総合大会（野球）



宿泊研修報告集会



宿泊研修（ボートオリエンテーリング）



パイセス年次会合記念講演



西部散策報告集会



# 修学旅行



体験学習（魚加工）



列車内にて



体験学習（りんごの花摘み）



体験学習（バターづくり）



中尊寺



体験学習（牧場作業）



食事風景



げいび溪

# 文化祭



合唱コンクール



吹奏楽部演奏



一年生英語劇



「私の主張」



生徒会企画



生徒会企画



PTAゲームコーナー



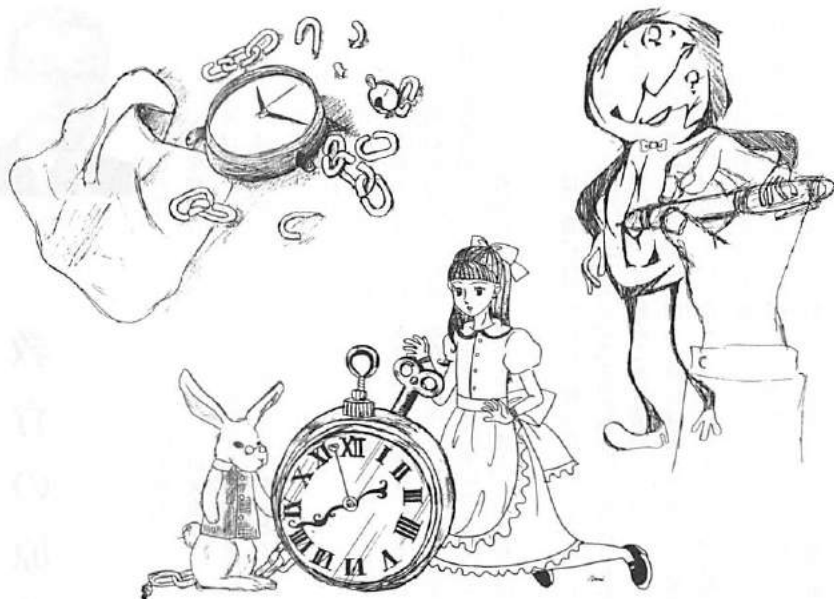
学年館展示



# も く じ

## グラビア写真

巻 頭 詩 .....	1
教育の原点 .....	2
他人の意見を聞ける人になろう .....	3
我慢し頑張る心、 人を思いやる心を身につけよう .....	3
生徒会テーマ&ポスター .....	4
生徒会新総務 ～この一年にむけて～ .....	5
生徒会旧総務 ～一年をふりかえって～ .....	7
生徒会一年のあゆみ .....	9
専門委員会 ～活動報告～ .....	12
卒業生へ贈る言葉 .....	18
卒業生へ .....	23
在校生へ .....	24
部 活 動 一年間の活動記録 .....	25
栄誉を讃えて .....	32
思い出をこのページに残して .....	33
修学旅行記 .....	40
宿泊研修記 .....	44
学級プロフィール ～1・2年～ .....	46
校外学習体験記 .....	50
文 苑 .....	53
・ 意 見 文	
・ 読書感想文	
・ 俳 句	
・ 短 歌	
・ 川 柳	
教職員名簿・写真 .....	62
編 集 後 記 .....	63



# 時計

三年B組 水澤佳子

一人だと思っていたから  
周りの何も見なくなかったから  
自分一人で時計を追っていました

でもみんながいてわかった時  
自分一人じゃ何もできないって思った時  
そんな時計のネジを巻き直しました

だけどそれは本当の終わりの少し前で  
自分一人が何よりも身勝手だという事に気づき  
そしてひどく後悔しました

もうこんな事は繰り返したくない  
一人じゃないから出来たこと  
みんながいたから出来たこと  
それを時計に刻みたいのです

過去の後悔  
いつかは時となり  
針と共に止まってゆく  
そんな少しの期待が  
また時計を追わせていきます





## 教育の原点

学校長 佐野 武

昨年四月、本校に赴任して二十一世紀の幕開けを迎え、一年を経過しようとしている。平成十四年度（二〇〇二年四月）から毎週土曜日が休日となり、完全学校週五日制が実施される。その実施に伴い学校教育の基準である新しい学習指導要領に基づき学校教育がスタートする。今年度、来年度は、その新しい学校教育に対応するための準備期間である。

新しい学習指導要領が「どのような子供の育成」や「どのような学校づくり」を目指しているか、そのねらいを述べてみたい。

- ① 豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成すること。
- ② 自ら学び、自ら考える力を育成すること。
- ③ ゆとりある教育活動、基礎・基本の定着、個性を生かす教育を充実すること。
- ④ 各学校が創意工夫し、特色ある教育、学校づくりを進めること。

この①④のねらいの背景には、現在、急速に、しかも激しく変化する社会への対応とそれに伴い生じた様々な課題の解決など学校教育に対する社会的な要請と、さらには子供を取り巻く環境の変化により、これまでの指導経験では予測できない問題状況が生じてきているところにある。このような社会の変化と子供たちの発達上の諸課題を踏まえ、将来を担い、生き抜く子供たちに「生きる力」を育成することが求められている。

この「生きる力」は、常に自分の存在と他の存在を意識し、共に生きていこうとする行動力のある心豊かな人間の育成を目指している。今回の特色の一つとして、「総合的な学習の時間」が新設されたのは、急激にしかも複雑に変化する社会に具体的に対応できる「生きる力」を育成するため、各学校が「特色ある教育活動」を創り出し、その成果が上がるように、また、国際理解、環境問題、情報、福祉、健康など、社会の進展により生じた様々な教育課題を各教科や道徳、特別活動にまたがって集中的に学習するためである。

この新しい教育に対応していくため、学校は家庭、地域の信頼に応え、地域に開かれた学校づくりを進めるとともに、これまでに我々教師の指導力も高めていかなければならない。

子供の健やかな成長のため、今何よりも大切なのは、学校の場合だけでなく「学校、家庭、地域の三者が力を合わせること」である。

親は子供にとって、人生最初の教師であることから「教育の原点は、家庭である。」と言われる。今後、三者が協力し、一体となり、相互の責任を自覚し、子供の教育環境を整え、相互の教育力を生かし、高めていく教育を一層推し進める努力が必要である。



## 他人の意見を聞ける人になろう

PTA会長 近藤 和行

子供に対して、自分の意見をきちんと伝える人になれ、と教育する親は多いと思うが、それと同時に大切なことは、他人の意見を最後までしっかりと聞ける人になることである。このあたりをしつかりと教えてやりたいものである。

誰もが平等であるということは、誰もが、言い分をきちんと聞いてもらえるということ、そのために他人の意見を聞く態度を教えること。これが教育の根本ではないか。

よく日本人は話し合いが下手だと言われるが、お互いの意見が食い違った時に、考えが違って当たり前とは思わず、そのまま、感情的対立に走りがちである。

他人同士では、感情から思考、生き方まで違って当り前と認め合うことが、重要である。

お互いに耳を貸さず、言いたいことを言い合うところでは、望ましいコミュニケーションは成り立たない。

相手の立場や意見を理解しようと努力することが大切だと思う。もちろん、聞きっぱなし、影響されっぱなしでも困るが、他人の意見を最後まで聞いたうえで、自分の意見を加味して、話し合いができることが大切なのである。

意見は、言うことが素晴らしいわけではない。何を言ったかが問題で、さらに、聞く人にその内容がいかに正確に伝わっているかどうか、が最も大切である。



## 我慢し頑張る心、人を思いやる心をつけよう

教頭 山本 俊秀

一時「見えない学力」が話題になった。点数で現されるものではなく、その人が身につけている「人として必要な素養」のことである。ともすると、私たちは「表面」や「結果」に出る要素に気を奪われやすい。しかし、その人の「個性」は、実は点数や結果だけではなく、いかにしっかりと「心」を身につけているかなのである。

その「心」とは、人を思いやること、苦しいときにも投げださずに物事にとりくむこと、人とともに協力すること、人の意見を素直に聴くこと等ができることである。さて、皆さん自分のことを振り返ってみて欲しい。自分の仕事に手抜きをせず責任をもって取り組むことを日常から心掛けているであろうか。人が見ているからするのではなく、自分の仕事であるから責任をもってするのであるが、人は弱い心をもっていて「楽なこと」「楽な方法」を選んでしまう。そこで育つ心は「逃げ出す心」「つらいことはしないですましてしまう心」である。いつまで逃げるつもりであろうか。人生のどこかの時期に身につけなければならない「心」がいつまでたっても身に付かず大人になっていくとしたら、今年の成人式の若者のような行為も平気ですてしまうようになっていくであろう。

中学生の今の時期に「自分の心」についてもう一度見つめ直してみよう。「我慢する心やつらいことにも耐えて頑張る心」「人を思いやる心」が自分の中に育っているであろうか。学校は点数で現されることばかりを学習するところではない。しっかりとした「心」を育てるところでもあるのだから。



平成12年度 生徒会テーマ

# BE ACTIVE IN DOING

— 行動に自主性を —



3年B組 熊谷 宇見



2年A組 及川 朋美



1年A組 片桐 奈美

# 生徒会新総務

～ この一年にむけて～

会 計		書 記		副会長		会長
渡	伊	大	石	多	寺	藤
辺	藤	塚	川	田	内	島
結	祐	真	洋	莉	真	直
衣	樹	衣	平	彩	哉	

新生徒会総務



## 自主性を心掛けて

会長 藤 島 直 哉

僕が会長になろうと思った一番の理由は、今の自分自身の力で何ができるのか確かめたかったから、どんな可能性を持っているのかを、五稜中の代表になることで、自分に今、欠けているものを見いだしたいと思ったからです。

今まで僕は、会計として約一年やってきました。ですが、会計なんて名ばかりで、先輩に頼りっぱなしで、自主性が全くなかったと思います。今回の生徒会テーマ『BE ACTIVE IN DOING』行動に自主性を』に基づいて、今年は自分らしさを存分にアピールして行きたいと思っています。会長になりたての頃は、自分も五稜中学校の代表としてやっていけるのか、とても不安でした。でも会長になったからには、自分の持てる力の全てを出し切り精一杯仕事をする覚悟です。五稜の生徒の目標になるように、挨拶も自主的にしていこうと思います。

一つ一つの行動をする前に、これからすることはよい事か悪い事かを判断できるような生徒で満たせるように努力するつもりです。

今年は、五稜三訓の一つ『すすんで清掃、きれいな学校』に基づいて、清掃活動にも力を入れたいと思います。できれば、ベルマーク集めなどのボランティア活動もできればいいと思います。

残りの任期、生徒会の底力、自分の熱い会長魂、存分に見せつけて行くつもりです。これからも少し頼りないこの会長を支えて下さい。どうぞよろしくお願いします!!

## ◎ 副会長になつて

副会長 寺内 真

ぼくは何かにつけてめんどうくさいという気持ちになつてしまします。特に勉強は一番めんどうくさいと思います。しかし、副会長になつてから少し考えが変わりました。自分に与えられた仕事は責任を持つてやると決めています。そして、普段の生活においてもけじめを持つてゐると思っています。これから、副会長という自覚を持ち、しっかりと地を足をつけて一歩一歩前進していこうと考えています。

## ◎ 生徒会副会長になつて

副会長 多田 莉彩

私は、生徒会副会長としてこれから一年他のメンバー達と、この五稜中を楽しく、そして明るくしていきたいと思っています。それともう一つ、今までの生徒会を見習ひ、自分達の生徒会を作りあげたいと思っています。副会長になりたてで、わからないことがたくさんあると思いますが、会長や書記・会計と協力して頑張りたいと思いますので、みなさん、よろしくお願いします。

## ◎ 書記になつて

書記 石川 洋平

僕は今回生徒会に立候補して、なんとか書記に当選することができ、引き受けるからには責任を持つてがんばろうと思いました。僕が生徒会でやりたい事は、生徒一人一人が参加できる生徒会を目指し、楽しい学校をつくることです。生徒会役員はみんなの代表ではなく、サポーターだと思っています。僕達を応援してくれた人達がフィールドに立つ代表で、それを裏方で支えるのが生徒会だと思います。共に学び、つくる生徒会にご意見、応援よろしく願ひします。

## ◎ 新生徒会書記として

書記 大塚 真衣

今回、生徒会書記をやらせてもらうことになりました。大塚です。前回、旧生徒会として会計をやった私ですが、前回の時よりもやる気と、自信に満ちあふれています。

これから、生徒会書記として、生徒会をやっていく訳ですが、私は、新生徒会の皆さんとともに、よりよい生徒会として、やっていきたいと思っていますので、どうぞ、よろしく願ひします。

## ◎ これからの事

会計 伊藤 祐樹

僕が、生徒会会計になつてから、もう二ヶ月がたとうとしている。はじめは、会計は何をすればいいのかわからなかったけど、今では、自分の仕事は、自分で責任をもつてやろうと努力しているところだ。

それに、朝のあいさつも、最近では、遅れないように心がけています。これからは、自分のやるべきことや仕事にも、より一そう責任をもつて、最後まであきらめずに、やりとおすように心がけ、五稜中の生徒会の一員として、会長や副会長に協力してがんばっていききたいと思っています。

## ◎ 生徒会役員になつてみて

会計 渡辺 結衣

私は生徒会に対して、仕事の量は多いしやっても楽しくないというイメージをもっていました。しかし、実際の生徒会はちがいました。今現在の主な仕事といえばあいさつ運動ぐらいだし、会長も副会長もみんなおもしろい人たちばかりなので活動するのがとても楽しいです。

これから、生徒会会長、副会長、書記のみなさんと力を合わせて立派な五稜中学校をつくっていききたいと思っています。



# 生徒会旧総務

～一年をふりかえって～

会 計		書 記		副会長		会 長
大塚	藤	水戸	大友	熊谷	中谷	井口
真衣	島直哉	部有華	裕子	宇見	準	由紀乃

旧生徒会総務



## 会長という任期を終えて

会長 井 口 由紀乃

自分の意思で会長に立候補し、任命されてから一年が経った今、私は任期を終えました。この一年を生徒会総務として過ごし、感じたことは、思っていたことを実行する難しさです。色々なアイデアは思い浮かぶのですが、その半分以上を実行できないまま任期が終わってしまいました。ですから、何かまだものたりない気持ちが残っています。生徒会総務のみなさんには、こんなことにならないように、どんな色々なことに挑戦していつてほしいです。

しかし、任期を終えた私を感じているのは、後悔する気持ちだけではありません。もちろん、会長を務めたことで成長できた部分もたくさんあります。例えば、毎回集会にある「生徒会長のあいさつ」のおかげで大勢の前で話すことに慣れることができました。それに、文化祭など、行事をつくる立場になり、成功したことにより達成感を味わうことができました。

一年をふりかえってみると、多少の困難はあったものの、なんだかんだいってとても楽しい生徒会でした。

そして佐藤先生には本当に心から感謝しています。当たり前ですが、先生なしでは私達総務は何一つとして仕事をやりとげることができなかったでしょう。本当にありがとうございました。また、同じくくらい感謝したい人は、いつも廊下ですれちがう時に元気よくあいさつしてくれた人達です。色々な仕事为重なり、忙しい時には、そのあいさつがあつてこそ、がんばることができました。

最後に新生徒会総務の7人へ。悔いの残らないようにがんばって!!

## ◎生徒会副会長を終えて

副会長 中谷 準

中学一年から、中学3年の秋まで生徒会活動にたずさわって本当に充実した中学生生活を送れたと思う。いつの間にか、もう二年間が過ぎて、少しさびしい感じもするけど、3年生になってから後悔したことはないのもとてもよかったと思う。生徒会副会長になってからいろいろと大変なことから、生徒会の人にも迷惑かけたこともあってちょっと今でも反省している。これからの生徒会の人たちには僕にできなかったようなことをやってほしい。

## ◎生徒会で過ごした二年間を振り返って

副会長 熊谷 宇見

私は、生徒会会計、副会長と、二年間生徒会活動を行ってきました。その中で、色々なことにチャレンジしたことにより、自分自身がとても成長できたように思います。また、二年間この生徒会ががんばってこれたのは、支えてくれた生徒会役員のみなさんと、先生方の力強い助けがあつてこそです。本当に有難うございました。生徒会で得た貴重な体験を生かし、これからがんばります。最後に新生徒会の皆さんがんばってください。期待しています。

## ◎充実した一年間

書記 大友 裕子

生徒会書記でいられたこの一年間はとても楽しかったです。今でも心に残っているのは「文化祭」です。私たち生徒会が努力したことが一つ一つの形になってくれて、とても嬉しかったです。書記になつて慣れた頃に任期が終ってしまったので、ちょっと残念ですが、この一年間とても充実したものにできました。これから、新しい生徒会が活躍することと思いますが、何に対しても「一生懸命な気持ち」を忘れずより自由な五稜中を目指して頑張ってください。

## ◎生徒会書記を終えて

書記 水戸部有華

一年間という短い間で私は、色々なことを経験しました。その中でも文化祭は、私にたくさんのことをあたえてくれたと思います。新しいものを作るチャレンジ精神の大切さや難しさ、そしてこの仕事のたいへんさなど自分に足りなかったものに気付かされることもありました。

最後にお世話になった総務の先生方、総務の皆さんありがとうございました。そして新総務の皆さんがんばってください。

## ◎実り多き一年間を終えて

会計 藤島 直哉

会計になってから一年がたち、今、やっと落ち着いています。振り返ってみれば、この一年間は、いろいろなことがありました。体育大会、中体連、文化祭など、何もかもが新鮮だった一年間。先輩や先生方に頼りきりだった自分が、ここまでやってこれたなんて、正直言つて驚きです。それも、今まで支えてくれた先生方や先輩、それに周りの人たちのおかげです。これからは感謝の気持ちを大切にして、会長として新鮮な気持ちで臨んで行きたいと思っています。

## ◎生徒会を終えて

会計 大塚 真衣

旧生徒会を終えて、私は、二つ教わりました。一つ目は、全校生徒が、真剣に集会等を取り組める様に頑張つた生徒会会長や、副会長、書記等の団結力と一生懸命さです。

二つ目は、よりよい学校生活のために何度も教室に集まって、生徒の事を考えた先生方の思いやりや優しさです。

この一年間、生徒会会計としてやってきて、たくさんのことを学び、色々なことを知りました。最後に皆さん、本当に有難うございました。

平成  
12年度

# 生徒会一年のあゆみ



もうじき今年度も終わりを迎えようとしています。皆さんにとって今年一年はどうだったでしょうか。部活動に力を入れた人、勉強に専念した人など様々だったと思います。三年生にとつては進路決定の重要な年に、一、二年生にとつても、次の学年への飛躍の年になったと思います。

このページでは様々なできごとがあった今年一年の生徒会活動について、振り返ってみたいと思います。

## 四月

### ◇入学式・一学期始業式

小学校を卒業したばかりの初々しさが残る姿で登校する新一年生。制服での登校や教科担任制など、今までとのギャップはあっても新入生の表情は、今までとちがう環境においての前向きな気持ちや真剣さがひしひしと伝わってきました。

### ◇新入生歓迎会

この日、新一年生は初めて在校生と対面し、在校生による生徒会活動の説明や部活動の紹介などが行われました。

### ◇認証式・専門委員会

それぞれの専門委員会の代表者が任命証を受け取り、半年間にわたる専門委員会が始まりました。

## 五月

### ◇第四十回校内体育大会

新しいクラスになって間もないにもかかわらず、どのクラスも素晴らしいチームワークを見せてくれました。個人競技においても一人一人が真剣に一生懸命に取り組んでいました。きっと忘れられない思い出になったことでしょう。



## 六月

### ◇生徒総会

今年の生徒会テーマ「Be Active in Doing」にもとづき、各クラスから種々多様な意見が出され、今年度の生徒会活動における指針が定められました。

### ◇中体連陸上競技大会

校内体育大会などにおいて選抜された選手達は、練習中でも本番当日でも一生懸命にまた真剣に取り組んでいました。

### ◇校外清掃

各学級ごとに清掃範囲を分担して行いました。生徒全員がボランティア活動について認識できたと思います。AETのロバート先生も一緒に参加していただきました。

### ◇中体連総合大会

各部活動のキャプテン達からのコメント通り、どの部活動も優勝をめざして真剣に一生懸命に試合に臨んでいました。



### ◇亀田川清掃

早朝の参加にもかかわらず、半数近くの生徒が参加し、ボランティアに汗を流しました。

### ◇一学期終業式

思いついた一学期も終わり、それぞれ楽しく過ごした夏休み。そして二学期へ…。

## 八月

### ◇二学期始業式

一年で一番長い二学期が始まりました。

### ◇文化祭実行委員会発足

文化祭テーマは去年よりもっと進化した、「Be Active in Doing」に決まり、実行委員会企画では、皆が楽しめる斬新で様々な意見が出されました。

## 九月

### ◇校外清掃

春と同様に、全員参加で行い、生徒全員がさらにボランティアについての認識が深まったように見えました。

# 十月

## ◆ 第四十回文化祭

昨年同様一日目は芸術ホールで、生徒一人一人がつくりあげた美しい歌声や吹奏楽部の素晴らしい演奏が響きわたりました。

二日目は体育館で行われ、文化祭実行委員会企画では最高の盛り上がりで大成功となりました。

## ◆ 生徒会役員選挙・認証式

役員選挙では、どの候補者も熱意あふれる立派な演説をしていました。見事当選した人は、それぞれ新生徒会総務としての自覚を感じた事と思います。

# 十一月

## ◆ 生徒会誌編集委員会発足

二、三年生の各クラスの代議員一名と、新旧生徒会総務によって構成される、この委員会。一年間の生徒会活動においての集大成となる生徒会誌の編集が始まりました。



# 十二月

## ◆ 二期終業式

ここで、充実した二期が終わり冬休みへ入りました。

# 一月

## ◆ 三期始業式

一年間のラストスパートとなる三期が始まりました。

# 三月

## ◆ 卒業式・終了式

三年生は思い出深い、この五稜中学校という果から、一人一人自分達の新しい希望の世界へ翔いていきました。また、この一年間で生徒一人一人がひと回りもふた回りも大きく成長することができました。

いかがでしたでしょうか？今年一年間を振り返ってみると本当に色々なことがあったと思います。来年も今年以上に充実している一年間になることを期待しています。

## 専門委員会 ～活動報告～



### 代議員をやって

#### 代議員会

代議員の仕事をしたがる人は、あまりいないと思います。だけど、この仕事は、どの委員会よりも楽しいと思います。確かに、大変な事もありますが私はやりがいがあったとても好きです。

3年生になると修学旅行実行委員会などの仕事もあります。自分達で準備をして、実行することとてもいい経験になりました。

今年は初めて後期も代議員をやりました。後期は、文化祭があり、生徒会実行委員会企画を立てたりと少し忙しい時もあったように思います。しかし、中学校生活最後の文化祭というせいもあつたのか、あまり大変には思いませんでした。

私は、3年間この仕事をしてきてとてもよかったと思います。なぜなら、生徒会の皆と代議員の皆と、そして、佐藤先生、桑野先生と一緒に仕事を楽しくやって来れたからです。これから新しく委員会を決める時は、一度は代議員になってみて下さい。

最後に、お世話になった先生方、どうもありがとうございました。(笹谷 雪絵記)

### 学習委員になって

#### 学習委員会

学習委員会の仕事は、主にテスト予想問題の作成です。他に仕事はほとんどなく思っていたよりずっと楽な委員会でした。でも、テスト予想問題を作るときは、先生がどんなテストを作るか考えるのが大変だったと思います。だけど、決められた日までに提出しない人がいて、何教科か予想問題がないのがありました。みなさんごめんなさい。

他の委員会に比べて仕事は少なかつたけどテスト予想問題を通してみんなのテスト勉強の手助けができたと思います。そうゆう面で学習委員になって本当によかったと思います。

最後に、笹谷先生、田中先生いろいろありがとうございました。あと、学習委員としてがんばってくれたみんなありがとう。

(磯西 里香記)





生活委員になつて

## 生活委員会

生活委員会の主な仕事はあいさつ運動です。毎日8時5分までに登校し、朝の打ち合わせをして、それから玄関に立ってあいさつ運動をしています。これはとても忙しくて、たいへんな仕事だと思いますが、社会に出たとき、あいさつが一つもできない大人にならないためにも、あいさつ運動を続けてほしいと思います。

他の仕事は週番引きつぎのときの、目標や注意事項を考えるのですが、これもたいへんな仕事です。前の週の反省点をいかして、目標を決めるのはそう簡単な仕事ではありません。その他、遅刻する人をかぞえたり、集会の時に、みんなの列のうしろに立つて、ずれている人がいないか、確認したりするのも、生活委員会がしなければいけない仕事なのです。

生活委員会に入って、たくさんのことを学  
び、本当に役に立ったと思います。これから  
の生活に生かして行きたいと思います。

最後になりましたが、今までお世話になった先生方、本当にありがとうございました。

(高橋 宏大記)

体育委員を経験して……

体育委員会

体育委員会に入り、体育委員長を経験した私は、自分自身に大きな自信ができました。みんなの中心となって仕事を行うことで、責任感も増したと思います。私は今まで、委員会はずっと入っていましたが、委員長になったことがなく、最初立候補する時は少しとまどいがあり緊張感がありました。しかし、前からこういう皆の前に立ち、責任の大きい仕事をしてみたかったので、思ったよりもすぐに手が挙がりました。自分では不安で不安でしかたない気持ちでしたが、何事もチャレンジだと思い、自分ができる精一杯のことをしようと思いました。

体育委員長として活動した半年間は、はじめは長く感じていましたが、今改めて振り返ってみるとすごく短い半年間でした。一生懸命やると何事も短かったように思えるものです。いずれにしても、私は、体育委員長をやって損をした事は全くありません。全て自分にプラスだったと思います。

(武田 真依記)

保健委員を終えて

## 保健委員会

今年の保健委員会の活動はほとんど昨年にならって行ってきました。仕事の内容としては、白衣やナプキンの点検、石けんの補充や手洗場の清掃、ポスター作成等清潔や給食に関する仕事をしてきました。しかし、前期での活動では、安全点検や健康に関するアンケート調査という仕事で委員会の時間が最終的に足りなくなり、皆さんに迷惑をかけたという反省点を残す結果となってしまうました。前期の保健委員長として深く反省しています。実際、委員会の皆さんはともががんばってくれたと思います。ポスター等の提出期間を守ってくれた事など、しっかり決まった通りに活動をしてくれました。文化祭での仕事についても本当によくやってくれたと思います。

後期となり、保健委員長がとても責任感の強い人となり、保健委員会は更に活動が活発になったと思います。三年生の卒業後、在校生として今の一、二年生はそれぞれ委員会に入りますが、時間を有効に活用し、来年度は更に活動を活発にするようにがんばって下さい。

(渡辺 俊亮 記)

(渡辺 俊亮 記)

## 文化委員について

### 文化委員会

文化委員会は、実は二つの係に分かれていて、一つは越田先生率いる揭示係、そしてもう一つは大宅先生率いる図書係です。この二つの係は全く別々に活動するため、最初の専門委員会の時以外、一緒に集まって何かするということは全然ないのです。ちなみに私はこの委員会に入るまで知らなかったわけですが、少人数なのでけっこうやりやすい面もあったりするのです。

私が入っていた揭示係のほうは主に揭示物のはりかえをしました。仕事はたまにしかないのでけっこう楽をしていましたが、文化祭のポスターコンクールの票の集計などとはとても大変だったのを記憶しています。

一方、図書係のほうでは学級図書の出し等をやっていたようで、図書室で本の整理をしているのを何度か見かけました。

このようにそれぞれの係で活動している文化委員会ですが、地味ながらもきつと役に立っていることでしょう。けっこうおもしろかったのでやってよかったと思います。

(塚谷 桃子記)

## ボランティア委員会を終えて

### ボランティア委員会

今年のボランティア委員会では、昨年まで企画には出ていたものの行動に移すことができなかった野外劇参加を実現することができました。何度も委員会を開き、参加についていろいろな事を決めました。委員の人達も協力的に意見を出してくれてとても助かりました。当日には菊地先生や教頭先生が来てくれ、とてもいい経験をしたと思います。

他に、ボランティア委員会では、花壇造りや文化祭で活動しましたが、特に大変な仕事もなく、楽しんで仕事することができました。

花壇造りは、学年で分担し、水やりをほぼ毎日やりました。水やりはたえることはなく、他の人が忘れてしまった日も必ず代わりに誰かが水を与えていました。その結果花はきれいに咲き先生達もほめてくれました。

今年のボランティア委員の人達には、どんな新しい事に挑戦し、ボランティア委員会をもっと活動的なものにしてほしいと思います。

(近藤 由梨記)

## 選挙管理委員の仕事

### 選挙管理委員会

選挙管理委員会は、選挙が近くになると動き出す特別委員会である。しかし、選挙が近くなると特に何もしないのではつきり言う一年で三回しか集まって仕事をしたこと以外には、何もしていない。

僕は、一年生のとき一回委員会をやったことがありこれが二度目であった。その二回の委員会でもしろうかつたのは、開票作業である。開票作業は間違わないように一票ごと緊張が漂う中で行われたが、とても残念なことが二つある。一つは、候補者が一生懸命に演説をしているのに聞いていない人がいることと、開票作業をしているときに、マルをつけるだけなのにマルに何かをつけ足してその票が無効になってしまうことです。

五稜中を代表する人を選ぶ選挙なのでしっかりと聞き、書いてほしいです。生徒会役員選挙は、遊びではないのでこれからしっかりとしてほしいです。

三年生は、もうこれで最後となりますが、次の選挙では、後輩達にこのようなことが少なくなるようにがんばってほしいです。

(石井 秀平記)

## 95点

### 応援団

実を言うと、応援団にだけはなりたくなかった。そんな気持ちで始めた応援団。しかも、団長。本当に僕なんかを務まるのか? と思っ  
ていざ活動を始めてみると、思っていたより  
みんなちゃんと参加してくれたし、よりよい  
ものにできたと思う。点数をつけると95点く  
らいだろう。まずまずのできた。これも  
団員のみんなや鶴先生のおかげだと思ってい  
る。みんな委員会などの各自の事情で忙し  
かったはずなのによくやってくれた。みんな  
どれだけ大変だったろうか。三年生男子に  
とっては大声を出すことさえかなりきつい事  
だと言えるだろう。

さて、何で95点? なんて思った人もいただ  
ろうが、僕はこう思っている。

「去年より今年、今年よりも来年とこれか  
らもつともつといい応援にしていってもらえ  
る事を後輩に期待していきたい。」

最後に団員、鶴先生、本当にみなさんの力  
だと思っています。こんな僕を支えてくれて  
ありがとうございます。

(横山 泰孝記)

## 昼の放送の活動を通して

### 放送局

私は二年生の時も生徒会誌の文章を書きま  
した。その文章の終わりはたしか、昼の放送  
ができるようになった。と書きしました。そ  
の思いが、三年の春過ぎにかないました。昼  
の放送ができるようになったと聞いた時はすこ  
くうれしかったです。でも一番最初の放送は  
休み時間に何度もリハーサルをして本番にの  
ぞみました。それでも本番は、ものすごく緊  
張してしまつて、時々声が出なくなりそうに  
なりました。しかし、第一回目の昼の放送  
は無事に終わりました。今ではオープニング  
の言葉くらいなら、原稿がなくても言えるよ  
うにまでなりました。意外と早く慣れたので  
自分でもびつくりしているくらいです。

朝と昼の放送をやつてきた二年間を思いか  
えしてみると、担当の大宅先生にたくさんわ  
がままなことを言つて困らせてしまったと思  
いました。先生には本当にいっぱいお世話に  
なりました。本当にありがとうございます。  
今まで一緒に活動してくれた放送局のみな  
さん、ありがとうございます。後輩のみ  
なさんはこれからも放送をがんばってください。  
い。

(丹羽 彩香記)





# 平成12年度 五稜中学校生徒会役員・専門委員一覧表(前期)

	3 A	3 B	3 C	2 A	2 B	2 C	1 A	1 B	1 C
代議員 長副	鈴木 将之 笹谷 雪絵	花田 健 竹内ひとみ	長内 博 太田 良美	佐藤ありす 坪川 祐太	酒井 達矢 山本 理恵	大内ももこ 久米 賢	吉田 幸博 片桐 奈美	高橋 綾花 對馬 隆元	中西 理沙 澤村 謙太
生 活	渋谷 惇平 西川 潤 須佐三菜子 田中 育美	高松 広大 仁木 稿平 小野 直美 杉本沙哉佳	高橋一二三 高橋 正文 齊藤 純子 山田 幸岐	柴田 一洋 高橋 和也 日下 朋美 佐藤 藍子	加賀谷 仁 森 浩平 佐藤 仁美 藤野 唯	近江 紘幸 成田 晃 工藤 幹子 横山和貴子	高橋 和也 山内 直樹 笠原絵梨香 信田 真利	赤石 徹朗 古村 侑也 杉本 真衣 干場衣知乃	伊藤 祐樹 辻田 珠理 木本由希奈 佐藤あかり
学 習	中山 竜次 今野あさみ	神 和彦 島村 智子	井田 春希 三国 栄弥	對馬 康太 平松 朋恵	船山 貴裕 阿部あゆみ	佐々木祐貴 本間久美子	中川 昌太 和泉 愛美	花田 宗平 村上 佑奈	阿波加 慎 砂子田美希
体 育	傳福 佳貴 高橋 弓子	下川原星矢 武田 真依	竹内 亮人 上戸 晶子	島田 京介 伊藤 正枝	宮崎 剛 星賀さとみ	瀬戸 智里 藤井絵理華	近藤 由規 鎌田 遥	濱地 直宏 渡邊 結衣	今野 翔 山村 明未
保 健	下川 悠太 鶴見 清香	敦澤 佑太 杉山明日香	渡邊 俊亮 齋藤 美絵	小川 隆一 阿部真由子	瀬戸 貴志 張磨 真帆	小野 佑輔 山田 愛	赤石 卓也 渡邊亜祐美	小山内 健 横山 博美	櫛引 亮 松本 優美
文 化	吉村 裕愛 磯西 里香	齊藤 恭介 芦崎真理菜	浅井 亮太 塚谷 桃子	鎌田 群 松田なぎさ	横山 和博 伊藤紗智子	山谷 佳祐 東 晃子	辻 隆寛 川村佳菜恵	上杉 健太 下村 美和	高橋 裕司 渡辺 清美
ボランティア	鎌田 大輔 田中 美子	横山 泰孝 近藤 由梨	高崎 雄太 根本 雅美	橋本 智 水戸部美来	富原 翔平 松木 千衛	吉塚 竜也 久末 梨奈	小山 勝也 丹羽 裕香	西村 睦朗 天満 幸保	齊藤 慧太 田中 友未
学級書記	吉田 怜未	福森 あい	林 真奈美	関口 百子	太田 博文	横内 亜弥	金 隼人	田中亜希子	久保田大輔
学級会計	高橋 昌大 山口 美鈴	野口 昌保 水澤 佳子	長内 雄太 水上 結子	宮田 諭 及川 朋美	福岡 正博 水元 聖子	小上 優 増谷 美里	松葉 俊宏 中村佳菜子	伊藤 優樹 出村 春香	古館 隆一 内川 由貴
選挙管理	石井 秀平	上遠野良平	林 真奈美	関口 百子	石川 洋平	高畠 美里	高橋 亨	塚谷 善介	久保田大輔
応 援 団	高橋 昌大 西川 潤	小島 侑也 神 和彦 横山 泰孝	長内 雄太 渡邊 俊亮	坂本 涼 藤澤 真介	寺内 真 谷口 尚広	工藤 充 中江 啓太	川村 裕二 岡部 広大	遠藤 直也 中山 拓也	木田 晶大 榎木 僚祐
放 送 局	井口由紀乃 大友 裕子 笹谷 雪絵 吉田 怜未 下川 悠太	島村 智子 村田 友花 森 ちひろ	高崎 雄太 塚谷 桃子 丹羽 彩香 三国 栄弥	平松 朋恵 増野 幸子				伊藤 優樹 上杉 健太 下村 美和 杉本 真衣 高橋 綾花	原田 上総 佐藤 綾香 篠崎 菜摘

# 平成12年度 五稜中学校生徒会役員・専門委員一覧表(後期)

	3 A		3 B		3 C		2 A		2 B		2 C		1 A		1 B		1 C	
代議員 長副	下川 悠太	武田 真依	渡邊 俊亮	坪川 祐太	酒井 達矢	久米 賢	近藤 由規	濱地 直宏	澤村 謙太									
	笹谷 雪絵	小島 侑也	塚谷 桃子	松田 なぎさ	水元 聖子	大内 ももこ	信田 真利	下村 美和	木本 由希奈									
生 活	洪川 惇平	上遠野 良平	山内 貴司	柴田 一洋	富原 翔平	小野 佑輔	石田 庸大	花田 宗平	古館 隆一									
	行田 拓郎	中谷 準	井田 春希	高橋 和也	横山 和博	小上 優	鈴木 拓哉	高村 繁幸	辻田 珠理									
	伊藤 理恵	小野 直美	齊藤 純子	及川 朋美	佐藤 仁美	工藤 幹子	丹羽 裕香	杉本 真衣	佐藤 あかり									
学 習	竹内 あゆみ	杉本 沙哉佳	佐藤 恵美子	関口 百子	藤野 唯	増谷 美里	中村 佳菜子	高橋 えみ	田中 友未									
	森 弘太	下川 原星矢	高崎 雄太	坂本 涼	船山 貴裕	佐々木 祐貴	赤石 卓也	高橋 翔悟	工藤 洋司									
	磯西 里香	掛端 泉	水野 絵里	伊藤 正枝	阿部 あゆみ	本間 久美子	濱道 萌	高橋 綾花	渡辺 清美									
体 育	傳福 佳貴	高松 広大	泉 翔太	對馬 康太	大島 力	成田 晃	山田 拓郎	西家 雅人	今野 翔									
	大友 裕子	杉山 明日香	齋藤 美絵	平松 朋恵	星賀 さとみ	藤井 絵理華	片桐 奈美	田中 亜希子	山村 明未									
	高橋 昌大	敦澤 佑太	浅井 亮太	島田 京介	宮崎 剛	瀬戸 智里	辻 隆寛	古村 侑也	木田 晶大									
保 健	井口 由紀乃	佐藤 愛	上戸 晶子	阿部 真由子	酒井 亜沙美	山田 愛	笠原 絵梨香	横山 博美	内川 由貴									
	飛山 雄也	野口 昌保	長内 雄太	早坂 隆弘	森 浩平	岡部 一也	生島 裕希	上杉 健太	高橋 裕司									
	土橋 愛美	森 ちひろ	太田 良美	日下 明美	堀見 綾子	東 晃子	渡邊 亜祐美	干場 衣知乃	砂子 田美希									
ボランティア	小林 俊之	太田 靖人	田中 克明	橋本 智	一戸 翔太	吉塚 竜也	高橋 和也	佐々木 大輔	齊藤 慧太									
	高橋 弓子	房田 麻美	三国 栄弥	佐藤 藍子	張磨 真帆	横山 和貴子	門傳 彩夏	天満 幸保	山田 奈里美									
学級書記	吉田 怜未	村田 友花	洪谷 充子	佐藤 ありす	太田 博文	久松 梨奈	松葉 俊宏	對馬 隆元	宮本 梓那									
学級会計	鈴木 将之	芦崎 真理菜	長内 博	塩見 恭平	福岡 正博	工藤 充	吉田 幸博	遠藤 直也	遠藤 貴洋									
	田中 育美	島村 智子	丹羽 彩香	高井 麻里子	山本 理恵	横内 亜弥	川村 佳菜恵	村上 佑奈	吉村 麻里衣									

総務	会 長	藤島 直哉(2 C)	副会長	寺内 真(2 B) 多田 莉彩(2 A)	書 記	石川 洋平(2 B) 大塚 真衣(2 A)	会 計	伊藤 祐樹(1 C) 渡邊 結衣(1 B)
----	-----	------------	-----	-------------------------	-----	--------------------------	-----	--------------------------

# 卒業生へ贈る言葉



## 経験をいかして

三年A組 担任 山口 哲也

卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。みなさんと過ごした一年間は、とても有意義なものでした。たくさん思い出や感動を与えてくれたことに感謝します。また、学校行事や中体連などで活躍する姿を見て、私自身も多くの事を学びました。今後にいかしていきたいと思います。みなさんも、中学校生活で多くの事を学んだと思います。この三年間で心身共に大きく成長し、学校行事や中体連では、勝利に向かって一生懸命に頑張りました。自分の目標を達成した人や、くやしい思いをした人など、一人一人に違った思いがあったと思います。あるスポーツ選手が、「勝てば自信になり負ければ経験になる。」ということを言っていました。私自身もそう思います。集中して取り組み、一生懸命に頑張った事は、けっして無駄にはならないと思います。すぐに結果がなくても、将来必ず役に立つと思うので、苦しい事や辛い事があっても、くじけることなく前向きに頑張ってほしいと思います。卒業後は、年齢が増すに従って、社会に対する責任も重くなっていきます。善悪の判断をしっかりと行い、間違った事をしたら反省し、将来の自分をしっかりと見えて生活していく事も、大切だと思います。

二十一世紀、最初の卒業生です。新しい時代を元氣よく、悔いのないよう前進して下さい。くれぐれもからだに気をつけて、みなさんの頑張りと活躍に期待しています。



## 感謝を込めて。

三年B組 担任 輪 島 陽 子

三年間、一四六一日。そんなに時間が過ぎていたと思うと、不思議な気分です。私も、皆さんと一緒に五稜中へ来ました。教師として初めての中学校生活を、皆さんと一緒にスタートしたのです。

一年目は、ただ夢中で、わけもわからないまま毎日がすぎました。教師になったという事実、皆さんとの出会い、目新しい学校行事。自分の中学校時代を懐しく思い出しながら、楽しいばかりの毎日を送っていました。そして二年目。去年のままでだめだ、と痛感させられた一年でした。何かしたいのに、何をしたいのかわからず、皆を怒ったり、皆に怒られたり。泣いたり、泣かれたり。くやしい思いもしました。その中で、皆からたたくさんのことを教えられました。あの一年がなければ、今年はなかったと自覚しています。

三年目。改めて皆さんを見ると、背がのびていました。以前の写真を見ると顔つきが全くちがいで、話してみると考え方が深くなっていました。いつのまにか、毎日の生活態度に落ち着きが増していました。自分が楽しむだけでなく、誰かを支えたり、誰かに感動を与えたり。そんな力も身につけていました。人は変わる、成長する」ということを、皆さんが私に、身をもって証明してくれました。

これから、中学校時代のことがちっぽけに思えるほどの、様々な出来事があるでしょう。けれど、上手くいく時もいかない時も、忙しい時も退屈な時も、なりたいたい自分を見失うことなく生活して下さう。今よりも、もっと強く、もっと優しい人に成長していくことを期待しています。卒業、おめでとう。



## 『最後の苦言』

三年C組及び  
三年生全員の担任 桑 野 健 一

中学校3年間、君達と一緒に過ごしてきましたが、いよいよ明日思い出深い母校を旅立つこととなります。函館市立五稜中学校第38回生となります。私は3年C組の担任ですが、1年生の時から常日頃言っている通り、3年生全員の担任だと思って君達とかかわってきました。10名の卒業生の3/4の生徒を担当しました。1年生の時から、口を酸っぱくしながら何度もいや、何十回も君達に訴えてきたことを「最後の苦言」と呈して、卒業する君達へのはなむけの言葉とします!!「7カ条の御誓文」

- 1、高校生になっても、社会人になっても「いじめ」は、決してしてはならない、許すことのできない最低の行為です。
- 2、何でも1番を旨ざすこと。一つでも他人より勝るものがあれば自分自身の誇りとなり、自信が付き心に「ゆとり」ができます。
- 3、【挨拶は力なり】元気のよい、気持ちのこもった挨拶・返事をすれば、お互いに良い気分になれます。可愛がられます。
- 4、【時間厳守】時間にルーズな人は嫌われ、信用がなくなります。社会人になれば1分1秒遅れたら首になります。(解雇・免職)
- 5、善いことはどんどん行い、悪いことは絶対にしないという意志の強さをもって欲しい!正義感あふれる人間に育って欲しい!
- 6、うそは、つかないこと。そのうちに必ずバレます。うそをつくとそのつくろいのために、また次々とうそが重なり恥の上塗りとなり、取り返しのつかない程の重大事件へと発展します。
- 7、「人間、体が資本。健康第一。常に元気であれ。再会を期す」



## 新しい発見を求め続けて…



三年 副担任 笹谷 巖

「大陸移動説」を唱えた、ドイツの「ウエゲナー」は、若いころ最初にグリーンランド北東部の調査にでかけ、北緯77度のビスマルク峠に基地を設営し、この地域の地図をつくり、動植物、地質、氷河、気象などの調査を長い間続ける中で、陸地の氷山が分裂し離れていく光景を何度も見てこの理論を発想できたといわれています。

みんなの人生の中でも早い時期に何か、自分の好きなことを見つけて出し粘り強く継続していくことができるよう強く希望します。そのことから必ず何か新しい発見ができると同時に、次の生きるエネルギーを与えてくれるものと確信するからです。活躍を期待します。

## 発想力は柔らかない頭から



三年 副担任 伊勢 健

発想が豊かでユニークであるために必要なのは、みんなと同じように物事をしないことです。みんなと同じことが自分の頭にインプットされれば、発想もひらめきもみんなと同じようになるのが当然。だから、勉強はただ教科書を読んで理解するだけではだめなのです。いろいろなことに好奇心を持ち、いろいろな印象を受けることが大切です。いろいろな人と話したり、本を読んだりして、発想の種を蓄えておくことが大切です。すばらしい発想や大きな発見は、ちがう分野・方法をうまく合わせてできることが多く、そのために頭をできるだけ柔らかい状態にしておかなければなりません。

## 卒業される皆さんへ



養護教諭 森 豊子

ご卒業おめでとうございます。

皆さんとは、三年間のおつきあいでしたが、保健室を通してたくさんの人と関わりを持つことができました。いつも若さのエネルギー（パワー）をいっぱい頂き、そして楽しい思い出をありがとうございました。二十一世紀は、皆さんが活躍する時代です。これからも友だちを大切に、また自分も大切に、温かい思いやりの気持ちを忘れずに、自分の目標に向かってつき進んでいくってください。いつの日かどこかで出あったときには、笑顔で語りあいたいものです。大きく成長したみなさんに会える日を楽しみにしています。お元気で！

## すばらしいスタートを



一年A組 担任 渡辺 淳

卒業おめでとう。この一年間皆さんと楽しく授業することができうれしく思っています。まだまだ一緒に勉強したい気持ちです。「卒業」は「終り」ではありません。「スタート」です。三年間学んだことを基に、すばらしいスタートを切ってください。立派に成長した皆さんとの再会を楽しみにしています。

## 出 発



一年B組 担任 田中 篤子

この三年間で、身も心も成長した皆さん！さらに大きく羽ばたいていって下さい。絶えず前向きに、希望と勇気をもって正しさを求め、それぞれが新しい航路を開拓していくことを期待します。



## たくましい精神力

一年C組 担任 笹原 五郎

三年生のみなさん、卒業おめでとうございませう。今迄の温室生活から厳しい社会の中の人生がはじまります。決して全てがバラ色の人生ではありません。

苦しい事の方が多いと思います。どうか強く、たくましい精神力で困難を克服してください。



## 自分に問うこと

一年 副担任 鶴 宗三郎

事をするにあたっては、すぐ手をつけなければならぬ時もある。しかし、先ずは自分にしっかりと問う習慣をつけて欲しい。



## 「卒業生へ」

一年 副担任 大宅 剛

卒業おめでとう。「人生はリハーサルのない、ドラマといわれています」リハーサルができる人生は誰にもないのです。だから大切にしたいのです。失敗も、後悔もあります。でも臆病になってはいけません。失敗や後悔のない人生は、また誰にもないのです。自分の人生というステージで堂々と演じることのできる主人公になってください。

## 才能も長い努力の賜物

二年A組 担任 佐藤 雅博

二十世紀最後の年に、自分の可能性を試すために多くのプロ野球選手が大リーグに移籍しました。天才は極稀で、彼らの才能も長い努力の賜物。みんなも自分を鍛え、磨き、埋もれている才能を開花させ、自分の人生を力強く生きろ。



## 卒業おめでとう

二年B組 担任 大山 裕香

皆さんとは、家庭科の授業で、ともにすごした思い出が強いのです。調理実習でつくった炊きこみ御飯、仕上がりは様々でしたが、みんな元気一杯でつくってましたね。卒業後も何事も楽しむ心意気でとりくんで下さい。

## 早く、登りたい山を

二年C組 担任 越田 喜忠

「よじ登ることのない者は、決して落ちない」とはハイウツドの一文である。登山には、さまざまな危険が付きまとう。命さえ落しかねない。それでも山好きな者は山へ登る。君達は若い。早期に、魅力のある、向上心に燃え果敢によじ登る山（目標）を見つけてほしい。



## 卒業おめでとう

二年 副担任 阿部 眞美



御卒業おめでとうございます。みなさんとは、委員会活動などで接して来ましたが、一生懸命活動する姿が印象に残っています。

これからも何事にも真剣に取り組み、五稜中学校で学んだ「誠実・協調・真理・探究」の精神を発揮し、生活することを望みます。

## 充実した人生を

二年 副担任 菊地 康幸



卒業おめでとう。皆さんとは一・二年の二年間のおつきあいでした。三年生に行きたかったのが自分の残念です。「自分の人生」ですから、判断して進む道を決めるのは自分です。他人のせいにしないで充実した人生を歩んでください。

## 信は力なり

二年 期限付教諭 小林 巧 平

自分の可能性を信じることに、それは己の信念となる。家族・友人など自分を取りまく様々な人を

大切にし、お互いに信じ合える厚い信頼関係を築くこと。人との関わりは責任を生み、その責任は人の為、自分の為に行動を起こす勇気を生み、生きる力となる。冷やかに疑うことよりも熱く一生懸命信じるこの方が大きなエネルギーとなることを忘れずに。健闘を祈る。

## 大いなる成長を期待して

非常勤講師 今井 正 夫

卒業おめでとう。楽しくもあり、つらくもあつた三年間だったと思います。これからも今まで以上にいろいろな場面に出会うことも多いでしょう。でも自分で選び歩み出した道から逃げださず、全力投球で立ち向ってください。健闘を祈る。

## 君ができる限り

事務職員 相原 郁 夫

君ができるすべての善を行え、君ができるすべての手段で、君ができるすべての方法で、君ができるすべての時に、君ができるすべての人に、君ができる限り。これはイギリスの神学者ジョン・ウエズリーの言葉です。この言葉から何かをつかみ取って下さい。

## 大活躍をして下さい

事務職員 植山 栄 子

ご卒業おめでとうございます。何事も、他力本願ではなく、自力本願で、楽しくおらかに、バワフルに。失敗は次の成功へのステップとなります。皆さんの大活躍を期待しています。

## 力強い人生を

用務員 高野 雄 二

ご卒業おめでとうございます。五稜中で学んだ事を糧にこれからの人生を力強く歩んで下さい。お元気で。

## 流行

用務員 山口 秀 夫

「何々、ダシィー」「何々、ティウカー」良く身近で耳にする若い人の会話、又良く街の中で、厚い靴で、ツルツル路面を歩けない女の子、歩けないなら低い靴で歩け馬鹿。こんな事書いたら、口返すのだろうか？チョームカツツって。

## 希望

給食 稲垣 良 子

ご卒業おめでとうございます。何事にも、努力をおしますに、希望と勇気を持って、一歩、一歩前進して下さい



## 先輩、ありがとう

二年A組 関 口 百 子

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

この五稜中学校に入学してから一年半がたち、もうあと数ヶ月で二年が過ぎようとしている今、三年生のみなさんが残してくれた感動や興奮が浮かんでは消えていき喜びとさみしさでいっぱいです。

特にお世話になったテニス部の先輩がたとの本当にたくさん思ひ出が頭の中を交差して言葉に表せない何かへとふくらんでいます。

その思い出の中で一番印象深く残っているのは初めて先輩とかわしたあいさつです。先輩とうまくやっていけるんだろうかと不安に思っていた頃、先輩の「こんにちは」という言葉と笑顔が私の不安を消しさせてくれました。何より先輩から声をかけてくれたことが嬉しかったのです。それから先輩が部活以外でも会う度に明るく声をかけてくれました。今も変わらず接してくれる先輩の優しさが新しい部活の中で不安になっていた私の心を元気づけてくれました。優しいだけではなく体育祭や中体連、新人戦、そして普段の生活の中のアラゆる場面でみせるたくましさや大人の考えに大きな感動を覚え、多くのことを学び、「自分もそんな先輩になりたい」と思いました。そして今の自分は大きく成長することができたと思います。それはこのすばらしい先輩と出会うことができたからです。一年が過ぎた来年、一年生が「この先輩と出会えてよかった」と思えるように先輩の残してくれた感動を引きついでいきたいです。

これからもその笑顔と優しい心を忘れずに自分の夢へ向かって歩き続けて下さい。——先輩、ありがとう——

## 楽しかった一年間

一年B組 高 橋 綾 花

卒業生のみなさん、御卒業おめでとうございます。

月日が流れるのは、本当に早くて、先輩達に出会ってから、もう一年がたとうとしています。

春、私達は、五稜中学校に入ったばかりで、学校の事をあまりわからなくて、不安がありました。これからどんな事があるんだろう。どんな先輩がいるんだろう。でも、その不安を消し去ってくれたのは、先輩達でした。廊下で会った時は、明るく元気なあいさつをしてくれて、気軽に話しかけてくれました。専門委員会の方では私達や、学校の事を一生懸命考えて、より良いものとなる様にがんばってくれました。私の所属していた吹奏楽部では、明るくて、面白くて、やさしくて、とてもいい先輩ばかりで、すごく楽しくて笑っていた思い出ばかりです。ある先輩からのメッセージでは、「笑い死にしないでね。」と書かれてしまう程でした。他にも、体育祭で、走る前に「ガンバレ」と、応援してくれた先輩や、文化祭の発表前、緊張していた私に、励ましの声をかけてくれた先輩もいました。

そんな先輩達が卒業してしまい、いなくなってしまうのは、私達にとつて、とてもさみしい事です。五稜中学校で過ごした三年間の思い出を、みんなと一緒にあって、喜んだり、悲しんだりした気持ちを風化させずに、いつまでも忘れないで下さい。そして、これから訪れる、数々の困難を乗り越えていって下さい。

本当に、御卒業おめでとうございます。



## 自分で決める

三年C組 佐々木 敦

あなたが今しなければいけない一番大切なことは勉強ではありません。自分が何に向いているのか、自分のやりたいことは何なのか、ということを見つけることです。自分のやりたいことは、案外、簡単に見つかります。しかし、それが自分に向いているとは限りません。やってみると意外にすぐあきてしまうかもしれません。でも、それでいいと思います。「失敗は成功のもと」というように、そのくり返しが大切なのです。

人生というのは、決して思い通りにはいきません。必ずどこかで挫折します。その挫折でおちこぼれたり、あきらめてしまうのだったら、それは本当に自分のやりたいことではなかったのです。自分の決めた目標なら、自分の決めた夢なら、一度や二度の挫折であきらめることは絶対にできないでしょう。何度挫折しても決してあきらめない、自分の人生をかける、それぐらいの心意気がないとかなえられません。

人生は、自分の決めた目標に向かってがんばっている時が一番楽しいものです。いつか夢をかなえてやるという気持ちがあるから、がんばれば必ずできると信じているから、辛いことも、苦しいことも、楽しくできるのです。

「がんばれば必ずできる。」あきらめないでやってみてください。

## 中学校での三年間

三年A組 山口 美鈴

この五校中での三年間は、長かったようでとても短い時間でした。その間でも三年生は、修学旅行などの大きな行事があったせい、とても短く感じました。

中学校に入学する前の春休みは、まだ三年間も勉強しなくちゃならないのか、と思っていましたけれど、中学校に入学して、一日、一日過ごしてみると、一週間、一か月、一年があつという間に過ぎていきました。

中学校生活の三年間を振り返ってみると、辛かったこと、悲しかったことよりも、うれしかったこと、楽しかったことのほうがたくさん思い出にあります。文化祭、宿泊研修、修学旅行などの行事だけではなく、休み時間、放課後なども、楽しい思い出になりました。

中学校の三年間がすべて思い出になることはないでしょう。時が経つと、印象が薄いものは、大人になってから、記憶に残っていないと思います。ですから、楽しい思い出をどんどん作って記憶に残してほしいと思います。

在校生のみなさん、卒業までまだ時間がある、と思わないで下さい。中学校生活の三年間はとても短いのです。ですから、中学校生活を楽しんで、一つでも多くの思い出を作って、これからの自分の人生の大切な思い出の一つにしてほしいと思います。

## 在校生へ贈る ～卒業生より～



## 三年間の経験

野球部 小林俊之

新人戦、赤中に一回戦負け、中体連北中に二回戦負け、良い結果ではないが決して悪い結果ではない。

なぜなら、新人戦は雨の中、試合時間四時間以上の激戦。中体連は一点勝負の緊迫した試合。いずれも競った試合で、勝った相手の中学校はベスト4に突入ったのだから。五校中も優勝できる力があっただけに非常に悔しい思いをしました。中体連前などは、ボールが見えなくなるまで練習し、終わった後も自主的にヘッドスライディングの練習を血をだしてまでもやり、家に帰った後も筋トレ・すぶりなど当たり前のようにやっていました。それでも勝てなかったのだから、相手の中学校はもっと努力をしたのだと思います。

この三年間の経験は決して無駄ではなかったと思います。いつか必ず役立つ日が来ると思います。中体連に応援に来てくれた生徒や父母のみなさん、先生方、野球部の物を色々と直してくれた用務員さん、中体連前に練習を指導してくださった方々、転動された後藤先生、副顧問の渡辺先生、そして三年間問題ばかり起こし、かなり迷惑をかけてしまった山口先生、本当にありがとうございました。



## 延長・PK 2対4

サッカー部 上遠野 良平



昨年の中体連が終わってからキャプテンになりました。なる前は自分のことを優先して考えてきたのに、なつてからは部員みんなにあわせるということが必要になりました。最初はみんなにあわせてい気がつかつたりといへんでしたが、春季大会ころからなれてきました。そしてみんなも自分に協力してくれるようになりました。そして、中体連までの期間、みんなで必死になって練習をしました。みんなで練習するのはすごく楽しくていつまでもやっていきました。しかし中体連で一回戦シード、二回戦、光成中との試合で前半1-0でリードし、後半1対1と追いつかれ、延長前も1対1。そして延長後半も1-1。ついにPK戦となり、2対4で負けました。くやしくてくやしくてどうしようもないくらいくやしかったです。二年生にはその時のくやしさをばねに中体連だけではなくほかの大会も勝ち進んでほしいと思います。今までご指導してくださった佐藤先生ありがとうございます。高校に行ったら何もう気にせず思いっきりサッカーができるので楽しみで、仕方がありません。一生サッカーを続けたいと思います。

## 二年半の部活動を終えて。

卓球部 高松 広大

僕達卓球部は、二年半という短い期間の中、一生懸命部活に取り組みました。その二年半は、たくさんの人達に支えられながら頑張ってきました。その中でも、感謝しなければいけないのは一年上の先輩達です。僕達が入った時の卓球部は、卓球を教える先生がいなく、今、僕達がここまで強くなったのは先輩達のおかげだと思います。先輩達がぬけたあと、五稜中の卓球部が注目されたことは、とても幸せに思います。その他にもよく卓球ショップに行き、他の中学校の人や時には高校生と卓球をしたり、大妻高校で練習させてもらったり、僕達はどんどん自分達の実力を高めていき、満足できました。

顧問の輪島先生は、僕達と同じ年にこの五稜中にきました。あまりたよりがいがあるわけではありませんが、一生懸命卓球部のために練習試合などを組んで卓球部のために頑張ってくれました。

最後に今まで指導してくれた先生方、大妻高校の笹浪先生、去年引退した先輩方、五稜中学校卓球部のために指導してくれたたくさんの人達、本当にありがとうございました。



## チームワーク

### 男子バスケット部 下川 悠太



はく達男子バスケット部は、先輩たちが引退した後ガクツと平均身長が落ち、とても背のひくいチームになってしまいました。試合でもあまりリバウンドがとれず、いつも負けてばかりでした。しかし、ここまでがんばれたのは、すばらしい仲間たちがいて、なによりチームワークがよかったからだと思います。男子バスケット部はあまり上下関係が厳しくなく、ただバスケットが好きが集まって、楽しくバスケットができるという、とてもやりがいのある場でした。また、三年生は、六人しかいなかったもので、よく試合には二年生もでていました。このとき息が合い、いいプレーができたのは、日ごろからの仲のよさ、一緒になって悲しんだり喜んだりできたからだと思います。これこそが、はく達の最大の武器で自慢できるものだと思います。

これからは、後輩達にはもっと練習して、どんどん勝ち進んでいってほしいです。

そして、三年間熱心に指導して下さった鶴先生、短い間でたくさんの方を教えて下さった佐野校長先生、バスケットの基本を教えて下さった伊藤先生、本当にありがとうございます。

## 「三年間の思い出」

### 女子バスケット部 斉藤 美絵

私は、三年間バスケットをしてきてほんとうによかったと思います。バスケット部だけがわかる、くやしなかった思い出や楽しかった思い出がたくさんできて、三年間ほんとうに充実した思い出ができたと思います。

「中体連」というほんとうに最後の試合にむけて毎日、毎日つらくきびしい練習をしてきたのに、一回戦負けという結果になってしまいました。ほんとうにくやしくて涙がとまりませんでした。三年間の思い出がいつきに消えてしまったように頭の中が真っ白になりました。でも、みんな一生懸命力を出した結果だったので、それも一つの思い出としてみんなの心に残ると思います。後輩には、こんな思い出をもらいたくないのでこれからもっと練習をして、優勝という目標にむかってがんばってほしいと思います。

鶴先生には今までいろいろなことを教えてもらい、すごく感謝の気持ちでいっぱいです。おこったときはほんとうにこわくてきびしかったです。笑って一緒に話しているときはすごく楽しかったです。今までほんとうにほんとうにありがとうございます。





## バレーで学んだこと

バレーボール部 佐藤有香

中体連で、3年生の先輩が引退してからのこの1年間は、バレー部にとって、いろいろなことがありました。

3年生は、私達4人しかいなかったため、最初は2年生をどうリードしていいかわかりませんでした。ですが、練習や試合を重ねていくごとに2、3年生の仲も良くなっていききました。

4月になって、浦野先生が他の学校へ移ることになり、バレー部を中体連で廃部することになりいろいろと大変でした。チームはバラバラになったり、充実した練習が出来ていませんでした。新しく渡辺先生とコーチの小林先生が来てくれました。渡辺先生はバレーボールのことはまったく知らないのに、一生懸命中体連まで私達を指導してくれました。

小林先生は、昨年八月、亡くなりましたが、いつも私達の事を考え、指導してくれました。

最後に、本当に、浦野先生、渡辺先生、ありがとうございました。また、お世話になった小林先生のご冥福を心よりお祈りします。

そして、後輩の皆さん、また次の部活でも、バレーで学んだことを忘れずにがんばって下さい！



## 感謝★感激

テニス部 村田友花

約三年間続けてきたテニス。

楽しかった事、辛かった事、今考えると全てが良い思い出です。

テニスを始めた頃は、球拾いがメイン。素振りをしてもしない姿勢だったため、家に帰って座つても立ってない位の疲労だったのに、一度も「辞めたい。休みたい。」と思ったことはなかったです。なぜなら、いつもテニス部は先輩後輩が平等で、楽しかったし笑いのたえない部活でした。そんなすばらしい環境で共に練習した私達は、たくさんの学校と練習試合をしてきました。一、二年生は三年生の試合を見て、いつも大きな声で応援してくれました。ミスをしていても励ましてくれて、とても心強かったです。

中体連では、当番校の仕事も選手宣誓もやりとげ、みごとに団体戦の予選リーグ一位で突破。決勝戦では、クジ運が悪く優勝候補の学校と戦い惜しくも負けてしまいましたが、私達の先輩方が目標としていた団体戦三位とBEST16入賞を果たすことができました。

最後に、いつも楽しく時には厳しく指導し見守って下さった菊地先生、一・二年生、本当に「ありがとうございました。」感謝しています。



## 新パソコンとコン部とその後

コンピュータ部 久米 賢



お気付きのとうり今年、新しいパソコンが入りました。気持ちも新たに2学期から開始しましたし、それによってもたらされた利益も多いでしょう。1、2年はまだですが、3年生は授業にも取り入れられていますし、でもそれによって旧パソコンのゲーム関係のソフトがすべて使えなくなったことで部員はつらいです。以前活動の大部分をしめていたものが使えなくなってしまったのだから。しかし、新パソコン入荷によってやる気が出てきたのもまた事実。さらに今までないゲームもでてきていることも。パソコンは今後、今よりさらに必要になってくると思う。そんなことでパソコンが新しくなったのはよいことだったのだろう。見るかぎり活気も出てきている。さまざまな面でみても、新しいパソコンの到着は自分達、コンピュータ部にとっていいことなのは前に述べた通りである。今後については新しいパソコンとどんな運命がまちうけているかわからないが、古いパソコンの両者を使い分けながら、ゲームセンターなどといわれなような活動を続けていきたい。

## 後輩のみんな！期待してるからね！

吹奏楽部 井口 由紀乃

私は例年になく、厳しい部長でした。細かい事でも注意する。言ってしまえばうるさい部長だったのかもしれない。しかし、数人でひとつの音楽をつくるような吹奏楽では、どれだけのチームワークが良くても一人一人がしっかりしていなければ成り立ちません。だから私はいつも部員一人一人の細かい事まで厳しく注意していました。

しかし、練習の成果があらわれるはずのコンクール：今年もまた、銀賞をとってしまいました。本当にくやしくてたまりませんでした。でもいくらくやしがっても銀は銀です。三年間銀賞をとった私には、まだ金賞をとるチャンスがある後輩達がうらやましいです。今年、私達がとった銀賞というのは、単に審査員との音楽の好みがちがいでから生じた結果ではありません。私達には、「みんなでがんばろう」という協力することが足りなかったように思えます。そんな反省点をいかし、来年のコンクールでは、きている人みんなを感動させる演奏をして下さい。

最後に、三年間お世話になった桑野先生、本当にありがとうございました。そして来年、私の後輩達と一緒に金賞をとって下さいね！



## 「創造の楽しさがわかる美術部」

美術部 熊谷 宇見

今年の美術部は部員が3年生しかいなかったのですが、少ない部活の時間の中で、様々な活動をする事が出来ました。

最初に作ったのはオカリナで、みんな楽しみながら色付けをしました。一人一人の個性ある作品に仕上がりました。また、演奏することも出来るのでとても良い作品を作ったと思います。

文化祭時期には、ハンカチに絵を描くこと、彫金を刻むことを予定とし活動しました。

ハンカチに絵を描くのは、まず画用紙に下書きをし、その上に無地の白いハンカチをのせ、洗っても落ちない絵の具で色を付けます。みんな、チョウチョの絵、金魚の絵、自分の好きなアーティストの

絵など、自分が使ってみたいなと思えるようなハンカチに仕上がりました。良かったと思います。また彫金の方は時間が間に合わず完成しませんでした。技術を身に付けることが出来たので良い経験になったと思います。

このように、色々な活動を行うことが出来たのも親身に御指導して下さいました越田先生のお陰です。本当に有難うございました。

## “出来た”時の“喜び”、“嬉しさ”

家庭部 房田 麻美

私は、この三年間ずっと家庭部で活動していました。何故なら、“出来た”時の喜びや、嬉しさがあったからです。この気持ちは、他の部活でももちろんあると思いますが、部活によってその思い方は多少異なってくるものだと思います。

家庭部は、顧問の大山先生の都合等があり、なかなか活動する機会がありませんでした。でも、そんな中、大山先生は忙しい中、調理実習を計画して下さいました。それは、“クレープ”作りでした。計画の中でも、部員の人達は、もちろん私も期待で胸がいっぱいでした。作った当日は、時間を忘れ熱心に、そしてわくわくし、一生懸命作りました。途中、材料が無くなってしまい、スーパーへ行くハプニングもありましたが、それもまた楽しく良い思い出だと思います。部員の人達は、皆、良い人ばかりで気軽に話したりと、すごく楽しく、そして、誰もが助け合い取り組む事の大変さを学びました。同時に、一生懸命やって出来た時の“喜び”や“嬉しさ”も実感しました。そんな嬉しい気持ちでいっぱいになった部員を見ると、見ていて自分まで嬉しくなっています。私はそんな家庭部が大好きです。そんな体験を、ぜひ体験してみたいのです。最後に、色々な面でお世話して下さいました部員の皆さん、そして大山先生、本当に有難うございました。



## 求む、部員!! 新設書道部

書道部 佐々木 ひかる

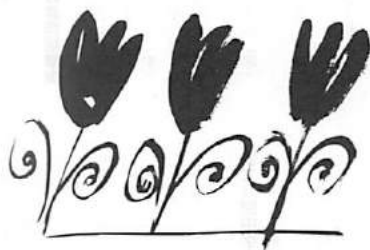
我書道部の顧問は阿部先生です。阿部先生は、「先生の書の作品はそんなに美しくないけど、書いた先生はすてきだ」と前に話していましたが、真実はいかに!!

書道部は、部員三人。ちよつと寂しい活動でした。最初は二人だけだったのですが、途中から一人加わりました。「もう一人、部員が増えるよ」と先生がおっしゃった時は、少しうれしかったです。

また活動もあまりなかったのも寂しさが増す原因となりました。あまり活動できなかったのは、先生の都合（委員会活動等と活動日とぶつかってしまう）や学校行事と重ってしまうのです。そんな具合ですが、表立って活動したのは文化祭でした。三人共同で一つの作品に取り組んだり、てん刻に初めて挑戦しました。思いつ切り

（う）活動できました。最初の予定では級も取得するはずだったし、公募展にも応募するはずでした。これからも出品する機会があるので計画を少しずつめぐるつもりでいます。

三人しか部員がいない、活動も少ない書道部。なんとか廃部にならない程度に頑張りたいと思います。字を思いつ切り書きたい人、年賀状の練習をしたい人、毛筆が好きな人、誰でも入部して下さい。





# 栄誉を讃えて

## ◎中体連陸上競技大会

### 男子の部

鎌田 群 (二年)	二一〇〇M	四位
齊藤 恭介 (三年)	共通二〇〇M	八位
小川 隆一 (二年)	三〇〇〇M	八位

### 女子の部

高橋 弓子 (三年)	共通一〇〇M	八位
大内 桃子 (二年)	八〇〇M	七位
上戸 晶子 (三年)	走り幅跳び	八位
藤井 経理華 (二年)	三種A	四位

## ◎中体連総大会

### 野球

対銭亀沢中	(24-0)
対北中	(1-2)
対本通中	(21-43)
対白百合中	(27-45)

### 卓球

対赤川中	(0-3)
対本通中	(1-3)
(個人戦ベスト16)	高松 広大 (三年)

### バレー

対光成中	(0-2)
対西中	(0-2)

### バドミントン

対深堀中	(1-2)
(女子個人戦)	大友 裕子 (三年) 二位
(全道大会出場)	

◎柔道 90kg超級  
成田 晃 (二年) 二位

## ◎サツカー

### 第二回戦

対光成中	前半 (1-0)
後半 (0-1)	
延長前半 (0-0)	
延長後半 (0-0)	
PK (2-4)	

### テニス (女子)

(団体予選リーグ)	対附属中 (1-2)
	対湯川中 (2-1)
(決勝トーナメント)	対的場中 (0-2)

### 剣道

(個人戦)	村田 赤石組 ベスト16
(女子団体戦)	二位
(個人戦)	播磨 真帆 (二年) 三位
	田中 美子 (三年) ベスト8
	久米 賢 (二年) ベスト8

### スキー競技大会

大回戦 男子	鎌田 大輔 (三年) 八位
--------	---------------

### 吹奏楽部

北海道吹奏楽コンクール南ブロックC編	成の部 銀賞
--------------------	--------

### 平成十二年度函館市の街をきれいにする市民運動協議会ポスターコンクール

協議会長賞	熊谷 宇見 (二年)
優秀賞	大島 力 (二年)
	及川 朋美 (二年)
	増谷 美里 (二年)

## 入選

笠原 絵梨香 (一年)
信田 真利 (二年)
出村 春香 (二年)
杉本 真衣 (二年)
大塚 真衣 (二年)

### ◎第十回函館市青少年芸術教育奨励事業

#### ◎文学部門

銅賞	東 晃子 (二年)
入選	大内 ももこ (二年)
	久末 梨奈 (二年)
佳作	山田 愛 (二年)
	工藤 幹子 (二年)

#### ◎音楽部門

奨励賞	関口 百子 (二年)
入選	熊谷 宇見 (三年)

### ◎角川文庫読書感想文コンクール

優秀賞	藤島 直哉 (二年)
	東 晃子 (二年)
	寺内 真 (二年)
佳作	星賀 ともみ (二年)
	石川 洋平 (二年)
	阿部 真由子 (二年)
	鶴見 清香 (三年)
	村上 佑奈 (二年)
	中西 理沙 (二年)

## ◎美術部門

### 平成十二年度

「ごみのポイ捨て防止標語入りポスター」	
函館市の街をきれいにする市民運動協議会長賞	熊谷 宇見 (二年)
優秀賞	大島 夏美 (二年)
	及川 朋美 (二年)
	増谷 美里 (二年)
	出村 春香 (二年)
	笠原 絵梨香 (一年)
	信田 真利 (二年)
	杉本 真衣 (二年)
	大塚 真衣 (二年)

#### ◎入選

増谷 美里 (二年)
本間 久美子 (二年)
増谷 美里 (二年)
瀬戸 智里 (二年)
岡部 一也 (二年)
吉塚 竜也 (二年)
大内 ももこ (二年)
東 晃子 (二年)
筆村 美里 (二年)

### ◎第二八回中学生作文コンクール

入賞	本間 久美子 (二年)
佳作	増谷 美里 (二年)
	瀬戸 智里 (二年)
	岡部 一也 (二年)
	吉塚 竜也 (二年)
	大内 ももこ (二年)
	東 晃子 (二年)
	筆村 美里 (二年)

### ◎第十二回函館市社会科自由研究作品展

金賞	阿部 真由子 (二年)
銀賞	中村 佳菜子 (二年)
	高橋 綾花 (一年)
銅賞	丹羽 裕香 (一年)

平成12年度 卒業生

## 思い出をこのページに残して



### 終わらない夢に

傷付いたり 涙を流したり 時にはくじけたり

負けそうな時 気付けばささえてくれている それが友情

これからは進んだ人生を それぞれに歩き出すけど

遠く離れても 卒業しても 心は一緒さ

いつか又逢う日は とびきりのあの笑顔で

輝いて欲しいよ 終わらない夢に

何事でも泣いたっていいさ 転んでも起きればいいさ

どこかのまらで きつとあいつも くいしばってるはず

何年先だって 変わらないその瞳と

語り明かしたいよ 友達だから

(前田 豆輝 による)



高橋 昌大	鈴木 将之	鎌田 大輔	渋谷 惇平	傳福 佳貴	井口由紀乃	笹谷 雪絵	庄司 綾香	鶴見 清香	今野あさみ	大友 裕子	須佐三葉子	笹谷 巖先生
小林 俊之	飛山 雄也	吉村 裕愛	西川 潤	行田 拓郎	小川枝里子	田中 育美	磯西 里香	土橋 愛美	吉田 怜未	高橋 弓子	瀬戸真由美	伊藤 理恵
石井 秀平	中山 竜次	下川 悠太	岡川 大晃	森 弘太	山本教頭先生	山口哲也先生	小川奈実江	小島ひとみ	田中 美子	竹内あゆみ	山口 美鈴	

3A

今年を振りかえって…

山口級

2000年の山口級は、良い所をさがすのは、ちよつと難しいクラスです。まあ、あえていうのなら、明るいうか、何というか…元気なところですか。少し騒がしいと思うかもしれませんが、それは、A組のイイところとしておいて下さい。

あともう1つ。体育大会で一位をとりました。800m走では、1・2・3位を連続でとり、タイヤリレーはなんと逆転しました。なにせ、うちの担任は、体育の山口先生なので、よけい頑張った様な気がします。

では、せっかくなので、我らの担任、山口先生のことを。先生は、皆さんも知っている様に「ベジ」と呼ばれ、親しまれています。やはり、体育教師なので、ちよつぱりマッチョですが、最近脂肪に変わっている様です。けど、1度胸筋を動かしてくれました。うけないギャグも得意の様です。しかし、この様なおもしろい先生がいて、この3Aがあったのだと思います。

中学校生活3年間、長いようで短かったです。私達はこの中学校生活を胸に、それぞれの道を歩んでいきます。(笹谷 雪絵 記)

# 卒業生一人一言 3-A編

また、いつか・・・

一年中そうじだった

またあう日まで・・・

二期期いっぱい掃除です。

柳~~~~~

Easyだ

おまえはもう死んでいるbyケン

安藤さんバ、バキー

さよなら

高校にいつでもがんばる

「ビューティフル」

いいね、いいよ。ありがとう

今ははずす気がしねエ

いろいろあった・・・

Never give up!

☆☆ギヤルになります☆☆

何事もヤル気です！（美鈴に続く

ファンレターのアて先はこちら↓

目指すはサケフレック！超えろ杏

目標を持って頑張ろう！

コンサが死んだら私も死ぬ（苦）

石井 秀平

岡川 大晃

鎌田 大輔

小林 俊之

洪川 惇平

下川 悠太

鈴木 将之

高橋 昌大

傳福 佳貴

飛山 雄也

中山 竜次

西川 潤

森 弘太

行田 拓郎

吉村 裕愛

磯西 里香

伊藤 理恵

井口由紀乃

大友 裕子

小川枝里子

小島ひとみ

しんごママは料理ベタ

杏！地下道で活動中！

函館市立五稜中学校ありがとう！

上原浩治はでっぱですか？

眠い時に寝るのが一番。

野猿★フォークダンスDE成子坂

「頑張れ、在校生よ！」

次会う日までバイチャー♡

ここではないどこかへと・・・☆

オリブ系になりたいちよ。

869163048689

すべてはきつとこの手にある

そんなおまえにスーサイド。

今野あさみ

笹谷 雪絵

庄司 綾香

須佐三葉子

瀬戸真由美

高橋 弓子

竹内あゆみ

田中 育美

田中 美子

鶴見 清香

土橋 愛美

山口 美鈴

吉田 怜未





上遠野良平	小芝友博	敦澤佑太	中谷準	花田健	島村智子	武田真依	金子香世子	下村久美	小泉麻夕子	福森あい
笹谷先生	高松広大	小島侑也	横山泰孝	神和彦	杉山沙哉佳	竹内ひとみ	掛端泉	杉山明日香	芦崎真理菜	熊谷宇見
佐藤恭介	野口昌保	仁木稿平	太田靖人	下川原星矢	輪島先生	山本教頭先生	近藤由梨	森ちひろ	水澤佳子	小野直美
										村田友花
										房田麻美
										佐藤愛

3B

3ねえりんBいくみい

輪島級

こんにちわ。まずはクラスの雰囲気について書きたいと思います。はじめて三年B組と決まった時は「金八」としか思いあたりませんでした。あんのじよう男子は教壇の上にあがり「3ねえりんBいくみい」と叫んでいました。これは、にぎやかなクラスになりました。うだという予想通りうるさい、いやにぎやかなクラスにどんどんなっていました。ときには、「けじめをつけろ」と怒られることもしばしばですが、そんなことには動じないB組のみんなはいつもどちらかというと、まじめより楽しい授業を受けてきました。ここで我がB組の先生を紹介したいと思います。

輪島先生は男がやや多めで、ゴスペラーズの大ファンです。ゴスペラーズが出るテレビはいろんな所から情報を得てそのテレビを見逃がない程大ファンです。輪島先生イコール、ゴスペラーズと連想する人がほとんどです。そして、初めて三年の担任をしたということを忘れるくらいみんなをまとめがなばっていました。だから今、こうして明るく楽しいB組があると思います。私は校内一のサイコーのクラスだと思います。



# 卒業生一人一言 3-B編

ガングロ極める!!

高校に行っても頑張る。

がんばる。

月光の下、灯が消え影が甦る…

「愛情は勿体ぶるな!!」

無理をせず、マイペースでやる

経済を知り現在を生きる。

継続は力なり。

みなさん私は超天才です。

ください。がんばって。

みんないっしょにがんばろう。

みんな高校に行ってもがんばって

今やれることを明日にまわすな!

気合と根性!

☆⑥かいかもしれないあなたは、

☆⑦つはじあいあんとパパ好きで

♥道産子は棒さんですわ〜♥♥

〔ME、WE〕

☆⑧いにちゴスペラズにキス♡

〔Why, I'm me〕

トムとジェリーは好きですか?

太田 靖人

上遠野良平

小芝 友博

小島 侑也

齊藤 恭介

下川原星矢

神 和彦

高松 広大

敦澤 佑太

中谷 準

仁木 稿平

野口 昌保

花田 健

横山 泰孝

芦崎真里菜

小野 直美

掛端 泉

金子香世子

熊谷 宇見

小泉麻夕子

近藤 由梨

我輩は猫である by 夏目漱石  
だだだだだだだだ

☆⑨さこいマッチョと踊りたい

☆⑩さうき わくわく どきどき

お姉ちゃんは宇宙人! んん……

双子の妹です。

ギター歴二日目(十二月八日)

スーパードモデル歴:三年目

FFとテイルズは最高です。

☆⑪れが私の担任でしたよ。

単純な真実が傷をいやしくてく

血を燃やす!!

佐藤 愛

島村 智子

下村 久美

杉本沙哉佳

杉山明日香

竹内ひとみ

武田 真依

福森 あい

房田 麻美

水澤 佳子

村田 友花

森 ちひろ





水戸部有華	掛端 香	佐藤恵美子	佐藤 有香	林 真奈美	上戸 晶子	齊藤 美絵	佐々木 敦	渡辺 俊亮	泉 翔太	長内 雄太	田中 克明
三国 栄弥	掛端 香	佐藤恵美子	佐藤 有香	林 真奈美	上戸 晶子	齊藤 美絵	佐々木 敦	渡辺 俊亮	泉 翔太	長内 雄太	田中 克明
洪谷 充子	掛端 香	佐藤恵美子	佐藤 有香	林 真奈美	上戸 晶子	齊藤 美絵	佐々木 敦	渡辺 俊亮	泉 翔太	長内 雄太	田中 克明
塚谷 桃子	掛端 香	佐藤恵美子	佐藤 有香	林 真奈美	上戸 晶子	齊藤 美絵	佐々木 敦	渡辺 俊亮	泉 翔太	長内 雄太	田中 克明
赤石 瑞穂	掛端 香	佐藤恵美子	佐藤 有香	林 真奈美	上戸 晶子	齊藤 美絵	佐々木 敦	渡辺 俊亮	泉 翔太	長内 雄太	田中 克明
丹羽 彩香	掛端 香	佐藤恵美子	佐藤 有香	林 真奈美	上戸 晶子	齊藤 美絵	佐々木 敦	渡辺 俊亮	泉 翔太	長内 雄太	田中 克明
木村 洋貴	掛端 香	佐藤恵美子	佐藤 有香	林 真奈美	上戸 晶子	齊藤 美絵	佐々木 敦	渡辺 俊亮	泉 翔太	長内 雄太	田中 克明
高橋 正文	掛端 香	佐藤恵美子	佐藤 有香	林 真奈美	上戸 晶子	齊藤 美絵	佐々木 敦	渡辺 俊亮	泉 翔太	長内 雄太	田中 克明
長内 博	掛端 香	佐藤恵美子	佐藤 有香	林 真奈美	上戸 晶子	齊藤 美絵	佐々木 敦	渡辺 俊亮	泉 翔太	長内 雄太	田中 克明
竹内 亮人	掛端 香	佐藤恵美子	佐藤 有香	林 真奈美	上戸 晶子	齊藤 美絵	佐々木 敦	渡辺 俊亮	泉 翔太	長内 雄太	田中 克明
高崎 雄太	掛端 香	佐藤恵美子	佐藤 有香	林 真奈美	上戸 晶子	齊藤 美絵	佐々木 敦	渡辺 俊亮	泉 翔太	長内 雄太	田中 克明

水野 絵理	水上 結子	太田 良美	根本 雅美	中川 一恵	山田 幸岐	桑野健一先生	井田 春希	森 祐寛	浅井 亮太	山内 貴司	高橋 一三
-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	------	-------	-------	-------

3C

終わらない三年C組

桑野級

今年、僕達三十四人は、三年C組に集結しました。初めの間は、慣れないないせいか、集団行動が苦手だった。しかし、徐々に、集団行動が上手になっていった。修学旅行に体育大会、文化祭といった学校行事を一致団結して、がんばっていった。体育大会は優勝とは、いかなかったけど、合唱コンクールは、金賞という、輝かしい記録を残した。その記録は、誰か一人のおかげではなく、三十四人と桑野先生のおかげであると思う。

また、僕たち三十四人はこの一年間で、個性をのばしていったと思う。ある者は運動をし、またある者は学問など、いろいろな物を桑野先生のもとでのばしていった。しかし、まだ、成長しきったわけではない。これからどう成長していくかは、一人一人の努力で決まります。つまり誰でもどんどん成長していく可能性あります。桑野先生、一年間、おつかれさまでした。そしてありがとうございました。これからも教師としての仕事をつづけていってください。また、この、三年C組としての一年間は、いつまでも心の中にあります。3年C組よ永遠に。

# 卒業生一人一言 3-C編

桑野サンキュー、バイビー

お前から最高のクラスメイトだ！

五稜中よ永遠にさらば元気な！

はくちゃん、キムチ大好き！

めっちゃ悔しい！

高校にいつて夢を探す

大好きなバスケットで日本一になる

少しの時間を有効に!!

すみません。

元気があれば何でも出来る

LUNASEE解散しちゃった！

バイバイ、

ell2πr×ω

五稜中のみんな元気です。

BEATLES LOVE

スシでも食いつかァー！

すっぽんとは、彼のこと④

きくぞうラーメン

でんでんムシムシQ

すっぱマン☆☆☆！

③おっぱおっぱおっぱお

浅井 亮太

泉 翔太

井田 春希

長内 博

長内 雄太

木村 洋貴

佐々木 敦

高橋一二三

高橋 正文

高崎 雄太

竹内 亮人

田中 克明

森 祐寛

山内 貴司

渡辺 俊亮

赤石 瑞穂

上戸 晶子

太田 良美

掛端 香

斉藤 純子

斉藤 美絵

また会う日まで

CHU♡CHU♡ディレクター

コッパチャップス★2コの味♡

かににー

今まで仲良くしてくれてありがとう

TVの国から今日和BYアイバッチ

いっちょめ先生☆

⑤ンキーコンゲ

感謝你給我一個很美好的回憶

今日の大家は一味違うのよBY大家

わす大統領だよねーBY大統領

④ゴウゴ・ルーガー!!

いままでありがとうございました。

佐藤恵美子

佐藤 有香

渋谷 充子

塚谷 桃子

中川 一恵

丹羽 彩香

根本 雅美

林 真奈美

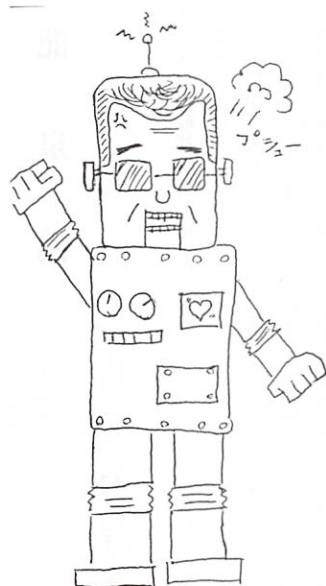
三国 栄弥

水戸部有華

水上 結子

水野 絵理

山田 幸岐



# 修学旅行記



## 龍 泉 洞

三年C組 木村 洋 貴

修学旅行の最初の目的地は龍泉洞でした。ここは自分にとって一番よかったところでした。

龍泉洞は中に入ると暗く、少し寒けがしました。まもなくすると水の音がきこえてきました。流れている水はとても冷たそうでした。足場はあまり安全ではなく、「おちたら死ぬな」とまで思いました。水をのぞきこんでいると後の人がおどかしてきます。

さらに奥にいくと階段がありました。その上ではこうもりの鳴き声がするらしくみんな立ち止まっていました。自分もすみのほうをこうもりが一瞬横切ったのを見ました。

また上に登っていくと今度は下りになり足場がぬれてすべりやすく、しかも道幅がなんと八十センチしかないのです。頭上はときどきあたりそうになります。

そうこうしてうちに出口につきました。

自分はこうもりも見れたのでとてもよかったです。



## 貴重な体験

三年A組 高橋弓子

体験学習は、自分の行きたいコースへ行き、体験学習ならではないことを学ぶものでした。二日目にあったので、初日の疲れもでていて、朝起きるのも辛かったので、「朝からバス乗るのかよ」といった気分でした。私のえらんだ牧場コースは、なかなか楽しいもので、大げさにいうと、疲れも忘れてしまう程でした。

牧場に着くと、すぐにトラククの荷物の置く所に乗り、草がいっぱいのところへ行きました。そこでは、牛にあげるえさとしてたくさん草をトラククに積みました。カエルなどいいて、みんな楽しそうでした。そして、またトラククに乗り牧場へ戻りました。

いよいよ次は、牛に自分たちの取ってきた草をあげます。牛は、目が輝いていて可愛らしかったです。草をあげようとすると、何頭もの牛たちが集まってきた、おいしそうに草を食べてくれてすごくうれしかったです。

普段、絶対に味わうことのできない楽しさやうれしさを学べて私は、充実感でいっぱいでした。きつとみんなもそうだったと思います。私たち三年生にとって、とても貴重な体験となりました。



## 「青春に合う場所」

三年C組 赤石瑞穂

「浄土ヶ浜」は見た目は山と海しかない極普通の浜でした。山といっても少し小さくて、緑の下には白色をした岩みtainいものです。私が見た正直な第一印象は「何もないつまらない所」。

浄土ヶ浜は本当に何もなく、そのうえとても歩きにくいのです。石の上を歩くとすべって転んでしまうくらいです。何もなく、歩きにくい一方で、ここで行くことは、写真を撮ることくらいでした。そこで友達とふざけて「浄土ヶ浜を背景に後ろ向きで撮ろうか。」ということになりました。後に驚いてしまうことも知らないで……

海の色はとても美しく印象的でした。修学旅行から帰ってきて何週間とたった時気づきました。それは先ほどの友達と撮った写真です。それを見て思わず笑ってしまいました。その写真には、「透き通る海」それに「古そうな山」とびつたり合う「後ろ向きの私達の姿!!」名を付けるならまさに「青春」。

ここで私の印象が「浄土ヶ浜は青春に合う場所だ。」と変わりました。今、私が手に持っているその一枚の写真は、とてつもない宝物になってしまいました。





## 中 尊 寺

三年B組 齊 藤 恭 介



修学旅行3日目、僕たちは、ホテルを出発し、中尊寺に向かい歩いた。バスで移動し、その後少し歩いて、ようやく中尊寺の境内に入りました。

入るとすぐに日本情緒あふれる空間が広がり、独特の雰囲気がありました。その雰囲気全てに歴史を感じました。

集合写真を取り、金色堂を見学しに行きました。まず入口の手前で説明を受け、金色堂に入りました。中に入ると、ガラスにおおわれた美しい仏像がありました。何年も前に清衡が夢見た極楽浄土の世界が、黄金色の輝きを失うことなく生き続けていました。この輝きは、これからもずっと残していくべきだと思いました。

それからいろいろと回りました。高い所からの景色も見えました。ただ、一番心残りなのは、ミイラを見られなかったことです。あと、もつとゆつくりと見たかったです。今回は修学旅行という団体行動ということで、今度来たときは、ゆつくりじっくり見たいと思います。今度僕が来る時まで、そのずっと先までも、この美しい歴史のあとを残していつかは思っています。

## 初めての舟下り

三年A組 中 山 竜 次



修学旅行で、はくは初めて舟下りを体験しました。舟下りをやると聞いた時は、何でそんなつまらないものをやるんだと思っていましたが、それは舟に乗るまでの話で乗ってからは、考え方が少し変わりました。船頭さんの話を聞いたり、周りの景色を見ているだけでいつのまにか時間が過ぎ、目的の場所についていました。その場所では自由時間があつて石を投げていました。なぜならその場所に石が入ると良いことがあるからです（これは船頭さんがいつかというところで実際はどうなるかはわかりません）。みんな石を投げていたのにもかかわらず、みんなで校歌を歌いました。帰りは来た時よりよい感じにみんなが校歌を歌いました。船頭さんと別れ、はくの初めての舟下りはこれで終わりました。舟下りと聞いて今までは、そんなものどこがおもしろいんだ、と思っていましたが、それはただの思いすこしで、実際に乗ってみるとおもしろく、今回は良い体験ができたと思いました。

# 康 楽 館

三年C組 高橋正文



修学旅行四日目、僕は新安比温泉をあとにし、岩手県を越え、秋田県の小坂康楽館へ向かった。康楽館は、外観は結構きれいな感じがするけど、中に入ってみると古く、ところどころ修理されているような気がした。

劇が始まる前に舞台裏を見せてもらった。大道具や小道具がしまっており、地下にはヘビも出るそうだ。楽屋では、役者さんのサインが壁いっぱい書いてあった。劇が始まった。舞台には、ネコなんかも出てきて、とても面白かった。途中で、花道から人が出てきたので、びっくりした。地下の仕掛けで動いているそうだ。劇の内容も面白かった。役者さんがたまに失敗することもあるけど、そこはうまくカバーしていた。劇の内容は定期に変わるらしいけど、毎日来ているお客さんもあるようだった。劇が終わって、最後に生徒の一人だけに殺陣を教えていた。舞台劇を見たのは始めてなので、何もかもに驚いたけど、康楽館に来て本当によかったと思う。なぜなら、とても面白い劇と、複雑な舞台裏を見ただけでなく、舞台劇の本当の面白さと役者さんや裏方さんの努力を舞台を通して知ったから。

# 旅 行 句

三年B組 金子香世子

夏過ぎて 今、思い出す あの景色

部屋、列車 真剣勝負の 大富豪

ガイドさん 何故だかとても 美人さん

「ねえ、寝てる?」「いや、おきてるよ」「ねれないね」

まか不思議 回せば出来る 天然バター

潮風と 一緒に写った 思い出シャシン

御利益が あると信じる 学業お守り(中華寺)

川下り 目を奪われる 溪谷美

遊園地 夏空高く こえ響く

オレンジの 光の下の ○○話

最終日 夏雨にたたずむ コウラクカン

「いつか、また」 みんなで一緒に どこかに行こう。

# 宿泊研修



## 心に残る宿泊研修

二年A組 阿部 真由子

とても楽しみにしていた宿泊研修が九月十三日・十四日に大沼で行われました。

あいにく小雨混じりの天気でしたが、私達は持ち前のパワーで雨も気にせずボートオリエンテーリングが始まりました。

コースは二コースから五コースまであり、私は三コースで二回目のスタートです。ボートに乗るのは初めてで少し不安もありましたが、ライフベストをつけて三人でボートに乗り込みました。スタート地点から橋の所までは幅が狭くボートが混み合っていて、ボートが岸から離れ「さあ、出発だあ。」と思った瞬間、近くのボートとボートにはさまれて動けなくなっていました。「どうしよう。」と言っていると、ボートの係員の人が私達のボートを橋の近くまで引っぱってくれました。がんばって漕いでいる人達には悪かったのですが、皆の間をスイスイ通り抜けて先頭の方におどり出しました。でも、ここからは自力でがんばらなくてはなりません。私は友達と二人でナビゲーターをしました。四カ所の木の名前を探しチェックカードに記入します。遠くまで行っているボートもありましたが戻れなくなると困るので近くで探しました。コンパスの使い方がよくわからず適当に探したので、結局二つしか探せませんでした。途中、友達と声をかけ合いながら一時間以上の楽しい探検は一組の落後者もなく無事に終わり、とてもよい思い出が生まれました。

## 陶芸を体験してみて

二年B組 酒井達矢

今年度の宿泊研修の体験学習では、選べる4つのコースがあった。1つ目はウエスタンクラフトコース、2つ目はバター作りコース、3つ目は絵付体験コース、4つ目が陶芸コースだった。どれもめつたに体験できないものばかりだった。僕が選択したのは、一番お金のかかる陶芸コースにした。この陶芸はいたってシンプルな作り方で適当な大きさのねんどを、ねって形を作っていくというものだ。例えば茶わんを作ったり、湯のみを作る人もいた。中には手の形を取っていた人もいた。この形を作ったねんどは焼くと少し小さくなりちゃんとつや出しもぬってあるので結構、本格的な物に仕上がる。僕がこの陶芸というものにふれてみて、一番印象に残ったことは、自分の手で形を作り、焼いた物を実際に、普段の生活で使っていくことができるということだ。このことはずっと前の時代でいうと縄文、弥生時代だ。縄文、弥生人は土器を食料の保存や食料を煮たりするのに使っている。このことは現代にある、なべやフライパンにつながる重要なことだと学んだ。この体験は貴重なものだと感じた。



## 宿泊研修の思い出

二年C組 小上優

宿泊研修に出発する日、なぜか朝早く目が覚めた。いつもなら、母に起されるまで寝ているにしては珍しい。

わずかに泊二日の小旅行。しかも目的地は大沼。グリーンピアもワールド温泉牧場も昆布館も、両親や姉と何回か行ったことがある。にもかかわらず、クラスの仲間と野外活動や自然とのふれ合いを一緒に体験できる期待から、少し興奮している。研修旅行というより、冒険旅行に出発するような気分だ。

こんな気持ちになっているのは僕だけではないはずだ。案のじょう、他の皆も大沼公園に向うバスの中から、もう既に、テンションが上がっていた。大沼公園での「ポートオリエンテERING」では、ポート同士ぶつかり合ったり、近くの小島の岩にひっかけたり、スリルとちょっとした探検気分を体験できた。

宿泊先のグリーンピア大沼では、大勢で食べた夕食がうまかった。特に、ビーフシチューは最高でこれが有名な大沼和牛なのかと思っただけにいい。夜は、消灯時間が過ぎてても、皆は眠らなかった。結局、先生には悪いとは思いつつも、十二時過ぎまで起きていた。翌朝は、再び探検だ。親友の中尾君と二人乗りの自転車、周辺の散歩コースを走りまわった。昆布館に立ち寄ったあとの帰りのバスの中では、いつも行き慣れた大沼がどうして宿泊研修中、こんなに新鮮に感じられたのか、そのわけを考えていた。

# 1・2年 学級プロジェクト



一年A組

うるせえナァー

渡辺 淳級

一年A組は、休み時間など笑い声でいっぱい、とてもにぎやかな明るいクラスです。にぎやかすぎて、担任の渡辺先生に、一日に一回は「うるせえナァー」と言われます。その「うるせえナァー」という先生の言い方がとてもおもしろく、みんなを笑わせ、もつとうるさくなってしまう。渡辺先生の授業以外の時もうるさく、注意される事が多いクラスですが、一年A組はうるさいだけではありません。団結力は他のどのクラスにも負けないくらいあると思います。例えば、体育大会では総合二位、合唱コンクールではみごと金賞、文化祭ポスターコンクールでは学級努力賞をとり、一年A組のクラスは賞状でいっぱい。たくさん賞をとれたのも、みんなが協力できたからだと思っています。その協力しあう学級のチームワークを作ってくれたのが、ホワイトヘアーでユーモアがあり、私達を笑わせてくれる担任の渡辺先生です。しかし、うるさすぎる時やクラスの誰かが悪い事をする、おもしろい時の先生とは全く違う、とてもこわいです。それによってけじめのつけられるクラスになってきました。

私達一年A組は、渡辺先生の「うるせえナァー」という言葉とともに過ごしてきましたが、その言葉によって一人一人が成長したと思います。これからも、渡辺先生のこうかいな笑い声に負けなくらい明るく元気な一年A組でいたいと思います。また、何事に対しても積極的にあきらめないでみんなで協力し、心に残る一年A組にしたいと思います。一年A組「うるせえナァー」学級ファイトでがんばるゾ!!

(信田 真利記)





一年B組

## 十人十色

田中 篤子 級

一年B組は、男子十七人、女子十五人、計三十二人の普通のクラスのように見えます。：が普通のクラスとは、ちよつとちがいます。それは、一人、一人にいろいろな個性があるからです。なので習ったばかりのことわざの中から、この題名をえらびました。

私達のクラスの担任の田中先生は、年を感じさせないくらいスタイルがいいです。生活のきまり、たとえば香水などについてはとてもきびしいです。一言で言う、と、「きびしく、時にはやさしく、見守ってくれる。」というような先生です。

まず、この平和なクラスに起った事件の一つ、二つ紹介しようと思います。まず、悲しい事にいじめがありました。でも、先生方の協力で解決しました。

しかし、このような、悲しい事件ばかりではありません。それは、大國さんが転入したことです。一年B組の新しい仲間が増えたのです。

このクラスの良い所は、男女の仲が良い事。さらに、他のクラスの人とも、仲がいいです。また、良い所ばかりでは、ありません。悪い所も、ちゃんとあります。でも、その分、いい所がたくさんあるので、ほほいい所しか見えません。

私達、一年B組は、明るく、仲良く、時には集中し、いろいろな面でがんばっています。二年生になりみんなが別れても、この一年間でつくった思い出は、忘れることはないでしょう。

(下村 美和 記)



一年C組

## 明るく素直なクラス

笹原 五郎 級

一年C組は、とても明るく、素直な生徒ばかりいます。毎日が楽しすぎて時々、先生方に注意を受けることがあります。勉強面では、テストの総合点はほとんどビリですが、スポーツでは他のクラスには負けません。

体育大会では、男子も女子もほぼ全部一位をとり、見事総合得点一位でした。それぞれ自分達の種目に取り組んでいる時のみんなの顔は、とても活き活きかやいていました。

十月の文化祭の合唱コンクールでは、金賞にはなりませんでした。が、短い時間の中でみんなががんばって練習した成果を本番で出せ、行事を一つ一つ終える度に、クラスが少しずつまとまってきたと思います。

普段の授業では、ほとんど消極的で手を挙げる人はあまりいません。そんな中で時々、笹原先生はシャレを言ってなごませようとしています。みんなはシャレの意味がわからず無反応です。それも先生の良い所だと思います。

先生はとても真面目で、き帳面です。そして、数学の時間では、わからない所があると、丁寧に教えてくれます。

これからも、クラスだけでなく、A組、B組と協力し合い、仲の良い学年、学級にしていこうと思います。

(木本・中西 記)



## 二年A組

### 『個性豊かなクラス』

佐藤 雅博 級

私たちのクラスは、個性があふれ、団結力があるクラスです。

2年A組には、明るい人や楽しい人、よく歌っている人、勉強がよくできる人、スポーツ万能な人……などと、個性がとても豊かでイキイキとしています。

A組の長所は、一人一人が個性豊かで、体育大会や文化祭の合唱コンクールの時には、クラスのみなが力を合わせて一つになり、団結力があるところです。合唱コンクールの練習だからといって、手をぬかず、厳しい朝練も一生懸命がんばりました。それに、授業中に冗談を言って笑いとばしたり、男子と女子が仲良しなどというのもあり、楽しいクラスです。

しかし、イイ所だけではありません。逆に短所もあります。それは、『けじめ』がなく、授業中にだらだらしたり、仲がイイために、きちんと話を聞かなかつたり、おしゃべりをして先生に時々注意されたりもしました。もちろん、きちんと授業に集中して取り組んでいる人が多いですが、やはり、『けじめ』をつけるのが、必要だと思っています。

こんなイキイキとしたクラスの担任の佐藤先生は、いつもニコニコしていますが、時々『超熱血教師』になり、厳しい面も見せます。それに、『ジャージにかわくつ』といった、ユニークな先生です。

残りあとわずかな時間を大切に、今まで以上にもしっかりと素晴らしい思い出をつくり、最高のクラスにしたいです。

(松田なぎさ 記)

大山先生

小林先生



## 二年B組

### 仲の良いクラス

大山 裕香 級

私たちのクラス、二年B組は、とても、楽しく、にぎやかで、笑い声が教室中に、響きわたるほど、明るいのです。しかし、いつも笑っているわけではありません。今までは、だいたい「早く終わって帰りたい。」と思ってやっていた掃除も、大山先生のおかげで、早く帰りたいと思うけど最後まで、きっちりできるようにになりました。委員会・係活動にも、積極的に参加できるようになりました。うちのクラスに生徒会役員が2人いるのもその証拠の一つでしょう。また、部活動にも積極的に参加している人が多く、その中でも、キャプテンなどをやっている人が多いのでそれも二年B組の自慢です。先日行われた合唱コンクールでは、大山先生がいなくて、様々な先生たちに手伝ってもらい、たくさん迷惑をかけてしまいました。そうして勝ちとった金貨は、一生の思い出になると思います。大山先生の体の具合が良くなって、替わりの先生が来しました。小林巧平先生は、若くて生徒思いで、いろいろなことにおいて、とても熱心な先生です。いつも生徒側の視点から、物事を考えてくれます。クラスの中でのレクなどもやることができました。席がえも2週間に1回で、いろいろな席で授業も楽しめます。このように、二人の先生に支えられてきた二年B組はいつそう、先生方への感謝の気持ちが深まったろうし、クラスの目標の「団結力のあるクラスにする。」というのは、達成できたと思います。三月まで残りわずかですが、二年B組で生活できる時間を大切にしていこうと思います。

(水元 聖子 記)



二年C組

## 思いやりのあるクラス

越田 喜忠 級

二年C組は、やんちゃな人や明るく楽しい人などいろんな人がたくさんいておもしろいクラスです。私がこのクラスの特に良いと思う所は二つあります。一つ目はやる時は一生懸命取り組む事です。先生が何か仕事などを頼んだ時には「面倒臭い。」とか文句を言う人が多いけど実際にやれば、みんな真剣に一生懸命やります。頼まれた時には快く引き受ければもつと良くなると思います。

二つ目はみんな優しく協力し合っています。困っている人がいれば助け合ってとても素晴らしいです。

反対に悪い所は授業と休み時間とのけじめがない所です。授業が始まってまだしゃべっている時があります。でもほとんどの人は真面目にやっています。

もう一つ悪い所といえば小さい事が多いです。まだ教室でのいたずらだからいいけど、だんだんエスカレートしていったら大変です。先生がよく注意します。そのおかげで最近はいたずらが少なくなります。

越田先生は変わった先生でおもしろいです。でもやっぱり他の先生達と言う事は同じで、勉強になります。ちょっと変わったクラスだけど、これからは良い所はどんなのばし、悪い所は良くなるように努力していきたいなあと思います。残りはわずかな日数ですけど楽しく過ごしていきたいです!!

(増谷 美里 記)



# 校外学習体験記

## いじめフォーラムに参加して

三年B組 房 田 麻 美

私は、昨年十月十四日に、「いじめフォーラム」という会に、出席してきました。そこでは、「いじめについて考える」というのが目的で、たくさんの方の先生・生徒・保護者の方々が集まりました。いじめにあった人・昔、いじめていた人・いじめにあった事もなく、いじめた事もない人：たくさんの方の意見がありました。そこで出会った方々の意見は、私にとつてとても貴重なものとなりました。何故なら、さまざまな経験をした方の意見だからです。いじめにあった人は、つらくてつらくて苦しくて、いじめていた人は本当はこんな思いだったと、何も体験していない人は自分は、こう思うと話していました。皆、しっかりと自分の意見を持っていました。もちろん私は、私なりの意見があります。それは、いじめられている人の本音を言いたくない気持ちをおかたてはしいというものです。人によってそれぞれ意見は違うでしょう。また、皆、意見を述べていてもそれは心からのものではないかもしれません。が、そう思った事は確かです。「関係ないから」これは誰にでもある気持ちだと思えます。ですが、たとえ関係なくとも、自分の事のように真剣に考えるべきではないでしょうか。いらない気持ち意見はないと思います。いらない命もあります。私達人間は完璧ではありません。弱い所や、間違える所をもっています。だからお互いに補ないながら生き

ていかなければいけないと思います。

このフォーラムで私は話し合いの大切さを感じました。ぜひ、自主的に参加して頂きたいと思います。

## ノーマリー教室に参加して

三年B組 近 藤 由 梨

私達3年生は、「ノーマリー教室」というボランティア教室に参加し車いすについて学びました。

車いすの操作は思った以上に難しく、皆障害者の方々の苦勞をこの体験を通して知ることができました。

講師の先生は三人来てくださり、そのうちの一人の方が車いすを使って生活している人達の事について話して下さいました。その話は「バリアフリー」といって段差をなくすことや、入口などのあらゆるドアの間隔を広くする事など、今の社会は不自由な生活を余儀なくされている人達のためにたくさんの方々の努力をしなければいけないことを知りました。

今、五校中学校では毎年この活動を行っています。これはとてもすばらしくとても良いことだと思います。教わった内容がこれからの生活の中で役に立つかどうかはわかりません。しかし、もしものために経験しておいた方がいいと思います。もしも役に立つことがなかったとしても、少しでも今まで抱いていた障害者の方々に対する気持ちなどが変わっていったらそれは十分にこの活動の目的を果しているということになるでしょう。

これから少しでも多くの方が、体の不自由な人達を助けられるようにこの活動はずっと続けていってほしいと思います。

## 西部散策を終えて

一年C組 伊藤 祐樹

十月十日に、ぼくたち一年生は、総合学習で西部散策へ行ってきました。

はじめに、各クラスで、班をつくり、班ごとにそれぞれのテーマを決めることから行いました。

そして、西部散策の当日は、各班が、それぞれの研修場所に行きいろいろなことを調べていました。

各班が行った場所は、教会や寺、墓地、観光地など、いろいろとありましたが、どの班も、自分たちのテーマに沿った研修場所へ行き、話を聞いたり、資料を見たりするなどして、よく知ることができていたようです。

その後、学校に戻ってきてからは、どの班も、西部散策に行ってきたことや、自分たちの思ったことや、感想などをもとに、もぞうしに、調べたことや、調べた結果、感想などを書いたり、写真をはったり、発表をするための原稿を用意するなどして、発表にこなえていました。

そして発表では、まずクラス内で発表しあい、各クラスの代表が体育館で発表しあい、無事に終わることができました。

ぼくたちはこの西部散策で、函館の歴史や、西部地区のことを、今まで以上に知ることができた、それに、いろいろと勉強になったことがあり、ぼくたちにとって、いい経験になった西部散策だったと思います。

## 愛泉寮にて

三年B組 芦崎 真理菜

学校の帰り、玄関で先生に呼び止められた。愛泉寮でのボランティアの人数が足りなくて……。一緒にいたNさんとともに夏休み中参加することになった。そのときは軽い気持ちでいたのだが、二日間を終えて、とても充実し、参加したことに意義があったと思う。

少しの期待とたくさんの方の不安を持ちながら私達メンバーは集結した。そして、その不安は瞬時にして消え去った。すぐにみんな友達になれたし、難かしい事もあったけど、一秒一秒の時間がとても楽しく思えた。例えば、車椅子での移動・操作。お年寄りの食事の世話。中でも最も自分が頑張れたと思う仕事は、二日目の愛泉寮の準備、そして実際に売り子になるというものであった。それぞれ自分の担当につき、思い思いに気持ちを込めて売った。その結果、完売という一つの目的を果たせた。

今振り返ってみると、この二日間ボランティアに対しての見方が変わったのだと考えられる。自分の善意で人に喜ばれるというのはとても良い事だし、多くの発見を得る事が出来るから。

あの時、先生に呼び止められて良かった。そして、おばあちゃん可愛いかった。

## 校外学習体験記

三年C組 根本 雅美

毎年夏になると、ボランティア委員のメンバーは野外劇に出ることになっています。今年の夏も、参加することが決まり、予定のな



かつた私も出ることにしました。正直なところ、めんどくさい気持ちと参加したい気持ちとが五分五分に入り交っていました。

五稜郭公園で集合して、さっそく衣装を着がえることになりました。衣装は、アイヌの服や、ゆかたなど多種多様で、役は一人二役ぐらいでやることになっていました。私はアイヌ民族、町娘、マリア役でした。特に印象に残ったのが、町娘として出た時に村人の人達と輪をつくり、踊ったことでした。いろんな学校の人達、その場で出会った人達と協力して劇をつくりあげたことは感動的でした。わからない事があっても、ベテランのおばさん達が教えてくれるのでとても助かりました。

そして、参加する前のあのうやむやな気持ちは、劇に出ることに夢中になり、自然と消えさっていました。

友達や、家族も一緒に受け入れてくれるので、けっこう気軽にすることが出来ます。野外劇に一度も出たことがないという人は、一回は出てみた方がいと思います。去年は五稜中からあまり参加者がいなかったので、今年は多くの人に参加してもらいたいのです。

## 長崎を訪れて

三年A組 井 口 由紀乃

私は今年の夏休み、「平和大使」として長崎へ行きました。それまで私は、戦争や原爆のことについて、教科書にのっている程度のことしか知りませんでした。

長崎で、実際に被爆を体験した方の話を聞いたり、原爆資料館で戦時中の生々しい写真を見て初めて、戦争のおそろしさを強く感じました。資料館には、人間の手の骨とガラスがくつついたものが展

示されていました。高熱のため、骨とガラスが溶けてくつついたらしいです。展示されていたものは、このような、いまでは信じられない悲惨なものばかりでした。原爆の破壊力やおそろしさがひしひしと伝わってきました。そして、戦争や原爆について、今まで無関心でいた自分をとて恥かしく思いました。

「戦争」について意識をあらためながら、「平和」について考えさせられました。長崎にいる間、たくさんの人達と、意見交換をしました。印象的だったのは、「どんな小さな環境問題でも、一人一人が自分の問題としてとらえることが、平和につながる。」という意見です。

では、平和な世界をつくるために、私たちには何ができるのでしょうか。身近なものを考えると、いじめをなくし、暴力ではなく話し合いで物事を解決する力を身につけることが平和への第一歩だと思います。

長崎での体験を通して、学校でも、みんなで戦争や原爆について真剣に話し合い、考え理解する場が必要だと思いました。まずは私が生徒会長として、今回学んだことを全校生徒に伝え、そして学校で取り組める、平和づくりを進めていこうと思います。

最後に、来年、広島、長崎に派遣されるみなさんにも、ぜひ、平和の大切さを学んで、より多くの人達に伝えていってほしいと思います。

# 文苑

## 親切

三年 吉村裕愛

とても蒸し暑い夏休みのある日に、ぼくは友達の家へ向かってバスに乗った。

バスの中はすごく混んでいて、何人かの人立っているくらいだったが、ぼくはなんとか座ることができた。

しばらくすると一人のおばあさんがバスに乗ってきた。そのおばあさんは、少しの間辺りをキョロキョロと見回していたが、席が空いていない事に気づいたようで、しかたなく入口側の柱につかまった。おばあさんは、この暑さでとても疲れているらしく、少しのゆれでも必死に柱にしがみついている。

その様子を見ていたぼくは、すごくいたたまれない気持ちになり、席を譲ってあげようと思ったが、声をかける勇気がなく、どうし

ても行動にうつす事ができなかった。するとぼくよりも小さな小学生くらいの男の子がすつくと席を立った。男の子はおばあさんの前まで行くと「ぼくの席、座っていいよ。」と言いい、おばあさんの手を取って自分が座っていた席までつれていってあげたのだ。その時のおばあさんはとてもうれしそう顔をしながら、見ていたぼくまでなんだかうれしくなってしまう。しかしその半面、すぐに行動にうつす事ができず、結局席を譲れなかった自分を情けないとも思った。

バスが四つ目の停留所に着くと、おばあさんは「ありがとう。」と少年に一言いってゆつくりバスを降りていった。ぼくも、丁度その停留所で降りる予定だったので急いでかけ降りました。するとそこにはまだおばあさんがいて、また辺りをキョロキョロと見回している。さつき席を譲れなかった分何かに立てる事はないかと思いい、勇気を出して声をかけてみると、行き先の場所がわからないのだという住所を聞くと、偶然にも自分の目的地のすぐ近くだった。さらに勇気をふりしぼって、連れていってあげましょうかと聞くと、おばあさんはうれしそう顔でコクリとうなずいた。ぼくは何か大切な物を届けているような気持ちでおばあさんと歩き、最後までしつかり

と見送った。その後、ぼくはとてもすがすがしい気分友達の家へ行くことができた。

自分はおばあさんのうれしそう顔を見られて本当に良かったと思う。もし、あの時なにもできずにいたなら、おばあさんの困った顔がいつまでも忘れられず、きつと後悔していただろう。

相手が心からよろこんでくれる。だから、自分ができる親切をしていきたい。

とてもむし暑い夏休みのある日に、ぼくはそんなことを考えた。

〔私の主張〕発表作品

## 人の命

三年 佐藤有香

今年の夏、私はある出来事によって、人の命について考えさせられました。

その事を知らされたのは、二学期の始業式のことでした。中体連までの二カ月間、私達バレー部を指導してくれた、小林先生が亡くなったという知らせでした。

聞いた時はびっくりしました。本当に信じられないという気持ちでした。その日私は先

生の告別式に行きました。そこで見た先生の写真はすごくいい笑顔でした。その写真を見ながら私は、ものすごく後悔しました。

最後の中体連の日。一回戦負けという残念な結果で終わって泣いていた私に先生は「ありがとう。」と握手をしてくれました。それなのに私は、きちんとした「ありがとうございました。」が言えなかったのです。

中体連が終わってから私はそのことがずっと気になっていました。手紙とか電話でもいい、とにかくお礼が言いたいと思っていました。

だから、先生が亡くなったと聞いた時、そのたった一言の「ありがとうございました。」が伝えられなかったと言う悔しさがあふれ出してきました。先生が私達バレー部に「ありがとう。」と言うのではなくて、「一カ月の間、私達が先生に教わったことは数えきれません。練習中はすごく怒られました。けれどそれはいつも私達の目標がかなうように考えてくれたからでした。厳しい顔とやさしい笑顔でバレーを教えてくれた先生を、私は尊敬しています。こんなことになるなんてどうして、という気持ちでした。

私は、今まで身近な人が亡くなった事がないので、もう悲しくて悲しくてしかたがありません。

ません。先生の死によって、私は命の尊さ、はかなさを考えさせられました。

今思えば先生の最後の言葉が「ありがとう。」で良かったと思います。「ありがとう」の一言に込められた先生の優しさが伝わってきました。

これからは、先生に教わったことをずっと忘れずにいきたいと思っています。

（私の主張）発表作品

## ゴミ問題を考える

二年 佐々木 祐貴

今の日本は、ゴミ問題という、とても大きな問題を抱えている。町ではみんな、すぐゴミをポイ捨てし、自分の町を自分の手でよごしている。さらに日本にある巨大なゴミ捨て場も、あと二十年、いや十五年もすれば使えなくなり、その結果、日本中にゴミがあふれることになるかもしれない。そうなれば動物達も住む所が減少し、さらに僕達人間も住める環境ではなくなり、次々に死んでいくことになるだろう。そうなるからでは遅い。そこでゴミを少なくするため、あめやガムなどのお菓子を小さくしたらいいんじゃないだろうか。

うか。お菓子は体にも悪いし、ゴミも出る。だからこそ、まずお菓子を小さくし、ゴミを少なくする。そしてみんなが今使っているものをすぐ捨てずに、大切に使うように心がければ、ゴミが少なくなるはずである。

しかし、これでは町でのゴミのポイ捨ては解決されない。ゴミのポイ捨てをなくするためには、どうすればよいのだろうか。これはみんなの考え方に問題があると思う。今の人には、ゴミ箱が近くにあってもゴミ箱には捨てずに、そのへんの道路や歩道に捨てる人が多くなっている。このような人は、自分が悪いことをしているとは思っていない。自分には関係ないからいいや、とか、これぐらい捨てても関係ないか、とか、そういう「自分には関係ない」という考え。そしてこのような自己中心的な考えが自分の町をよごす原因になっている。だから、そういう自己中心的な考えをなくし、自分は悪いことをしているということをわからせないと、ゴミのポイ捨てという大きな問題を解決することはできないだろう。

しかし、そう簡単に解決できたら苦労はしない。今までもそういうことを呼びかける運動を何十回もやってきた。学校でもゴミのポイ捨てはいけないということを教えられてき

た。それでもポイ捨てをする人は一方的に減らない。なぜ減らないのだろう。それは日本が甘すぎるということも考えられる。日本には外国のようにゴミをポイ捨てすると罰金というふうに厳しい法律が一つもない。だからみんな簡単にゴミを捨てるのである。こんなことではゴミのポイ捨てが減るわけがない。日本も早めに厳しい法律を作ったほうが、将来の自分達のためになる。厳しい法律を作れば、ゴミをポイ捨てする人も減り、みんなの自己中心的な考え方も変わってくるだろう。一人がポイ捨てをやめれば、まわりの人間もポイ捨てをやめる。というように、一人がやめればみんながやめることをみんながわかって、少しずつポイ捨てをする人を減らすことが大切である。

今の日本には、ゴミが町じゅうにあふれて手遅れになる前に、みんながポイ捨てをやめるために厳しい法律を作り、ポイ捨てをする人の考え方を變えることが、ゴミ問題を解決する近道になるかもしれない。

#### 〔私の主張〕発表作品

## ポイ捨て禁止令

二年 宮田 諭

自分は、外ではポイ捨てをぜったにしたいと思う。しかし、僕も、ダイエーのレジストをか捨てたことがあるような気がする。でも十三年間の中では、十回程度くらいしかないと思う。友達がポイ捨てをしているのを見ると、そいつに腹が立つ。なぜならば、その一人一人がしっかりとゴミを捨てなければ、地球がもたないような気がするから。

みなさんは、車の中からゴミを外へ投げ捨てている人を見かけたことはないでしょうか。僕は今まで、火のついたタバコを外へ投げ捨てたり、信号待ちで止まっている車がドアを開けて空缶などを置いていくのを見ました。その人たちは、何を考えているのでしょうか。かっこいいからなのでしょう。とても許せません。

八月に海に行きました。海はとてもよごれていて、空缶や、よくわかりませんが布なども落ちていました。僕らの海へのイメージはめちゃくちゃになりました。なんと暗いことでしょう。少しくさいですが「海が泣いてい

る。」と思いました。またとてもきれいな海にするのにはだいぶ時間がかかりそうです。

世界中の人たちが、泣いている海を元の海にしようと思つて行動を起こしても、やっぱり時間はかかると思います。それだけ、自分たち人間のやった罪の重さをわかつてほしいです。そんな汚い海は、オキナワみたいな青の入浴剤を入れた感じの海にはならないのでしょうか。しかし、だからといって、オキナワの海がキレイだとは言えません。オキナワだつてきつとキレイに見えるだけで、傍に寄つてみれば汚いんじゃないかと思ひます。

でも日本のいろいろな地域ではいろいろな運動にとりくんでいるそうです。函館だつてやっているんですよ。燃えるゴミ、燃えないゴミ、資源ゴミに分かれているでしょう。上磯なんてすごいですよ。燃えるゴミ、燃えないゴミ、資源ゴミは四種類に分かれています。

こんなふうに、日本全体で行つてくれるといいですね。いや世界でも行つてくれるといいですよ。もし、僕が大統領だったら「ポイ捨て禁止令」というきまりでも作りますね。ポイ捨てしたヤツは五〇〇〇〇〇円以下の罰金か懲役二年くらゐにでもしますね。シンガポールでは、もうそういうことをやっているそうです。ゴミを捨てたり、たん、つばなど

を吐いたりする行為は罰金の対象になります。そこまで厳しくするのは、やはり地球温暖化の問題などが関係しているのでしょうか。

日本でも、このように厳しくすると、きつとゴミをゴミ箱に捨てているヤンキーなどの姿が見られるかもしれませんね。はやくゴミを減らす対策に取り組んでくださいよ。森総理大臣！

（「私の主張」発表作品）

## 家族の大切さ

一年 村上 佑 奈

私は、小学校一年生の時、神戸に住んでいました。その一月のことです。神戸を中心とした、阪神淡路大震災が起きました。みなさんもニュースを見て、よく知っているとっています。

その日の朝、まだ眠っていた私を起こしたのは、いつもの優しい母の声ではなく、大きなおそろしい音と、ものすごいゆれでした。

あまりのおそろしさに声も出ず、ぼう然としていた時、私を呼ぶ声が聞こえました。

「ゆうな。」

父と母の声でした。

「大丈夫？」

「ケガはない？」

私と妹は父と母に抱きしめられていました。タンスもテレビも冷蔵庫もひっくり返り、全くもとの様子がないくらいに、ひどい状態で、食器やガラスのはへんがとびちって、ぐちゃぐちゃでした。

私達はすぐに避難しました。家を出ると、ビルは傾き、何軒も家がくずれ、真つ赤な炎が辺り一面を照らし、あまりのおそろしさに泣く事も忘れていました。避難所につくとすぐ、父はお年寄りのお世話をしていました。母は、私と妹の手をずっと、にぎっていてくれました。私は、そのあたたかい手のぬくもりによって、心が落ち着いていったような気がします。

一週間避難所ですごした後、母と私と妹は広島県の祖父の家に、三ヶ月間疎開することになりました。とても家に住める状態ではなかったからです。でも父は、遠くにいる私達のことをとても心配し、私達もずっと父のことを思っていました。初めて家族が別れて生活することになり、あらためて家族のありがたみを感じました。

あれから六年たち、神戸も元気をとりもどし、私も中学生になりました。

今思うと、この時初めて家族というものを実感したような気がします。命にかかわる大事件がおきた時、私を支えてくれるのは、やっぱり家族なんだなと思いました。父や母にとっても初めての経験であった、こんな大変な出来事の中、私達を一生懸命守ってくれました。

人間は一人では生きていけません。助けたり、助けられたりしながら、人に守られて生きているのだと思います。私はこの地震を体験したことで、命の大切さ、人が人思いやる心の尊さ、家族の大切さを胸に焼きつけました。この気持ちを、ずっとずっと大切にしていきたいと思っています。

（「私の主張」発表作品）

## 読書感想文・・・

### 「だから、あなたも

### 生きぬいて」を読んで

一年 中西 理 沙

「イジメは嫌だ。イジメからは何も生まれない。」

思わず叫びたい気持ちで胸が一杯になりました。



大平光代、三十四歳。当時中学一年の夏、転校が彼女の人生を大きく変えました。いや狂わせてしまったのです。不良少女の声かけに返事をしなかった。たつたそれだけの理由でクラス全員が無視、悪質ないたずら、言葉の暴力いわゆるイジメを彼女は毎日受けた。

今の人はすぐキレル・ムカツク等と言い、自分勝手に相手の気持ちも考えずに傷つける。肉体的な傷は時間が経てば治るが、心の傷は時間が経っても一生涯のどこかで痛み続ける。子供に限らず、大人の社会、そしていつの時代にもイジメは無くならない。ますます増える一方。なぜイジメというものがあるのかと思うと、怒りと同時に悲しみを感じました。

もし私のクラスに転校生が来た時、自分だったらどうするだろう。その人の友達になつて支えイジメを解決しようとするのか、それともイジメをする側にまわってしまうのか。頭の中でイジメは悪いと解つていても、いざ自分や友達の方にふりかかった時本当にイジメに立ち向かう勇氣があるのか。少なくとも一人で悩まず、家族や先生、心から信頼できる人に相談したい。そして常に前向きに生きる事を考えていきたいです。

彼女が受けた恐怖、不安、孤独、悲しみは、体験した事のない私には一言で表現できない

けど一つだけ同情できない点がありました。それは親友から裏切りから自殺を図った事。辛いイジメを乗り越えやつと出来た親友、彼女にとって宝物であつたはずの友からの裏切りは、私も死にたい、復讐してやりたいと考えるかも知れないが、自殺をする事は絶対にいけない。何の解決にもならない。どんな事があつても親より先に自らの手で死ぬのは親不孝者。世界になつた一人しかない自分をもつと大切にしなければいけない。

その後の彼女は非行の道を転がり続けるが、二十二歳の春、ある人との再会で本来の姿を少しずつ取り戻し、中学時代にイジメをした人達への復讐を、資格を取るという目的で果たす。中卒といつても小学校位の知識しかない彼女の勉強方法は独学に近く、何度もうつまずき、途中で投げ出したかつたと思ひます。しかし最後まで頑張れたのは、自分という存在を常に認め、勵ましてくれる人が側にいたからではないでしょうか。

私やほとんどの人はもつと楽な道を選び、いつまで経つても悪いのは他人のせいにし、立ち直ろうとせず、自分の甘えばかり主張し、それなりの人生を送つてしまふと思う。中学時代の彼女にも、一人でいいから存在を認めてくれる人がいて欲しかつたと思ひま

す。そして世の中に必要のない人間は一人もいないし、一人一人皆いい物を持っているはず。人を嫌わず、人の良さを素直に認められる人間になりたい。

私は、人間にはいろんな可能性があり、いつでも出発点で、転機が訪れるそのチャンスを見極める知識と心を毎日の生活の中から養つていく努力をしなければいけない事を学びました。

つい先日、小学校の先生から手紙が届きました。

「これからの進む道には、様々な障害物がある。しかし一つ一つの障害物を自分の目で確かめ、落ち着いて考えれば必ず乗り越えられる」と。人生はまさに障害物競走の様に跳んだり、くぐつたり。時に障害物が大きくて立ち止まる事があるかもしれないが、諦めず一步一步進んで行きたい。大切なのはどの様に立ち向かい、どの様に乗り越えていくかである。

誰にでも過去がある。大平さんは自分の歩んできた人生を隠さず、今では自分の経験を生かし非行の子供達と真剣に向き合い、その家族の為に弁護士としての肩書に執着する事なく自転車で走り回っている彼女に拍手を送りたい。

## 人と人との時間

一年 中 村 佳奈子

私がこの「生きるヒント4」を選んだ理由は、人が生きる事にヒントがあるとはどういう事だろうと思つたからです。また、なぜ「4」なのかというと、見出しに、本当の自分を探すための十二章と書いてあつて、おもしろそうだと思つたからです。

私は話の中の「触る」という事について、読んでみました。この「触る」という話は、大きく二つに分かれていて、清潔についてと現代の社会について書かれています。

私はこの話を読んで、清潔という事は、良い事なのか、悪い事なのか考えました。この本を読んでいない人は「清潔は良いことだ」という考えがあたりまえだと思います。私も初めは清潔である事があたりまえで、不潔なんてとんでもないと思つていました。しかし清潔に対する行き過ぎた考え方は、どうなのかと思ひました。

ある日、作者が電車に乗って仕事場へ行く時、ある事に気づき、不思議に思つた。それはベンチ式の長いシートに座っている若い人

達がちょうど十センチから十五センチくらいずつ間隔をあけて座つていた。それに、隣の人と体が接触しないように。そしてその間に年寄りの人などが座り込んでくると露骨にいやな顔をして立つて離れて行く。他人同士くつついて座っているより、立つていた方がマシだというような顔をして。

作者が言う、昔の時代は、おしくらまんじゅうをしたり、狭い場所に五、六人もかくれて遊んだりしていた。それに比べ、今の時代は、人間同士、できるだけ相手に触れないように暮らしたいと思う人が多くなつてきた。それはどうしてなのか、作者が考えた事は、こうでした。

「最近の人は、人間くさい事が嫌なんじゃないか。」

私は作者の文に、なるほどと思いました。確かに、バスに乗ると、人の声ではなく、テープから流れる案内の声。駅に行けば、無人改札機が多く、コンピューターでは、ゴルフやいろいろなゲームだつて、人を相手にしなくてもできる。

店員のいる店で物を買ひ、短い会話をかわしているより、自動販売機で買った方が気が楽で良い。そう考える人が多いような気がします。最近の人が、まさに人と接する事が嫌

だ、という事がよくわかりました。こんな事があるから、現代の問題でもある少年達のケンカの限度を超えた傷害事件、殺人事件さえも起こる事があるのは、やっぱり、人と人との接する時間がないからではないか、と私は時々思つたりもします。このようなめまぐるしい事件がたくさん起こり、世の中が暗くなる。

せつかく二十一世紀をむかえる直前なのに、こんな事件ばかりが起こつていいのかわからないと思います。この本を読んで、人間と人間とのふれ合いの輪を広げ、もつとこれからの事を、両親やいろいろな人と話し合うべきだと思ひます。そうすれば、二十一世紀を明るくむかえる事ができると私は思ひます。

「生きる」ことについてのヒントは、こういう事なのだと思います。また「自分を探す」というのも、人と接する事を忘れた自分を探しに行くという事なのかなと思いました。



# 俳句 (三年)

夏浅し岩に囲まれ舟の上

鶴見 清香

岩々にみちびかれゆく夏の風

土橋 愛美

涼しさに肌身震わす龍の穴

神 和彦

汗こおる龍のすみかはエメラルド

敦澤 佑太

最終日五月雨降りて悲しけれ

花田 健

新緑の若葉きらめくげいび溪

横山 泰孝

うち寄せる静かな波が風鈴に

小野 直美

音涼し流れにゆだね舟下り

熊谷 宇見

外見れば田植えする人汗ながし

小泉 麻夕子

雲の峰南方富士浮かんでる

近藤 由梨

五月晴れ景色がきれいげいび溪

佐藤 愛

あゆ見つけゆつくりゆられて夏の山

島村 智子

舟下り流れる滝が涼しげで

杉本 沙哉佳

すきとおり海底見える初夏の海

竹内ひとみ

ああ涼し夢見る景色川流れ

長内 博

岩はだが滝を思わす絶景だ

高橋 正文

初夏の日も届かぬ間はアヤメ色

渡辺 俊亮

洞窟の中に入ると涼し風

赤石 瑞穂

初夏の嵐の香りに誘われて

斉藤 美絵

夏めいた美し川に光さす

佐藤 有香

初夏の風歌にあわせてゆれる舟

渋谷 充子

透き通る風と心と夏の川

丹羽 彩香

五月晴れ暑さ忘れる水しぶき

林 真奈美

舟頭の歌声響く清水に

水上 結子

五月晴れ心がなごむ舟下り

水野 絵理

舟の上若葉の風にたそがれて

水戸部 有華

滝の音獅子の鼻先石つめて

鎌田 大輔

わが心清水とともに流れてく

石井 秀平

舟の道駝の反逆みずしぶき

下川 悠太

仕事終え暑さ忘れる草の上

森 弘太

新緑と舟の空色夏模様

井口 由紀乃

五月晴れ白きゆか照る海辺かな

大友 裕子

初夏涼し水面に浮かぶ舟と花

小川 枝里子

舟空とはやを引きつれ舟下り

今野 あさみ

高原はきらきら新緑あふれてる

高橋 弓子

夏浅しきらきら光る花をつみ

田中 育美

水音く豊かな自然は別世界

田中 美子

## 短 歌（二年）

新世紀ゴーゴーと鳴り響く除夜の鐘が夜の街へと

鎌田 群

新世紀未来に向けて歩き出す今年は花の受験生

早坂 隆弘

除夜の鐘港の汽笛と鳴り響き夢は広がる二十一世紀

阿部真由子

冬休み新年明けに風邪引いてやっぱり思う健康一番

伊藤 正枝

雪がもう溶けなくなつて冬がもう此処に居ることようやく気付く

佐藤ありす

初夢は学校にいて階段の掃除をしたような気がする

高井麻里子

中体連力を合わせがんばった勝つても負けても後悔しない

平松 朋恵

お正月明ければすぐに受験生花の季節もわれには遠く

増野 幸子

初詣で絵馬に願掛け祈る顔自分の姿だぶって映り

石川 洋平

なにげなく今年も聞いた除夜の鐘しかし我らは世紀を越えた

谷口 尚広

本を読み瞳閉じれば見えてくる作者の姿ここにあらわる

寺内 真

年越して二〇〇一年だけれども遊んでいては宿題終わらず

船山 貴裕

冬休み今年こそはと勉学に励む姿に母涙する

森 浩平

華やかな裾広がりのスカートでイチゴケーキにナイフを入れる

伊藤紗智子

冬休み塾と宿題で忙しく休みの文字は一体どこへ

佐藤 仁美

新聞のゲーム一つで時忘れ熱中することAM3時

堀見 綾子

露天風呂湯舟につかりほっとして夜空に光る月をながめる

中尾 祥一

元旦にボストに走り手に入れる年賀状見て友達を思う

大内ももこ

雪降る夜多き鐘の音響くなか新たな世紀にカウントダウン

工藤 幹子

水点下雪もらにつき息白く身体に電氣ぶるるつと走る

高畠 美里

「ありがと」素直に言えないこの言葉母に対する思い深まる

山田 愛

目を閉じて冬の匂いを感じると蘇りくる昔の記憶

本間久美子

冬の朝通学路には雪が舞いきしむ雪音耳に伝わる

藤井絵理華

空に飛ぶ枯れ葉の思い伝えゆく秋空の中野菊一輪

東 兎子

# 川 柳 (一年)

大みそか除夜の鐘鳴り新世紀

金 隼人

冬休み自由の陰に悪魔住む

近藤 由規

二〇〇一迎えるときは夢の中

小山 勝也

新世紀使いすぎたなお年玉

生島 裕希

新世紀昔のことは忘れたい

高橋 和也

ミレニアム希望を胸に突進だ

中川 昌太

口ト6みんな求める四億円

松葉 俊宏

コマよりもたこあげよりもお年玉

笠原絵理香

あと百年生きているなら新世紀

川村佳菜恵

お年玉いつまでたっても姉越せず

丹羽 裕香

お年玉もらうかげには親負担

信田 真利

初日の出一度くらいは見てみたい

本郷 舞

成人の式場での柄悪さ

上杉 健太

すぐ去っただんご三兄弟は今どこに

高村 繁幸

ミレニアム駕子先生も若返れ

対馬 隆元

始業式心の中はお正月

花田 宗平

お年玉この時だけは礼を言う

浜地 直宏

病院に急患入るイブの夜

古村 侑也

テスト前わめく私をにらむ母

鍛谷友紀子

雪印不衛生から事件呼ぶ

杉本 真衣

冬休み日にちを見るたびぞっとする

高橋 えみ

お年玉なぜ妹と同じ額

村上 佑奈

新世紀テストに向かって勉強だ

横山 博美

受験生最後の最後は神だのみ

渡辺 結衣

なった気がぜんぜんしない新世紀

伊藤 祐樹

大そうじ手が冷たくてもういやだ

川村 一哉

お正月おせち料理でいっぱいだ

木田 晶大

初詣大吉あててじまんする

辻田 珠理

白い雪じっと見てたらかぜひいた

原田 上総

さらさらと雪ふる町は銀世界

古館 隆一

大みそか20世紀よさようなら

砂子田美希

教室はみんなの心つまってる

木本由希奈

さむすぎて足つめたくなる雪の道

篠崎 菜摘

年賀状なつかし友の顔うかが

中西 理沙

宿題ができずにいつも始業式

松本 優美

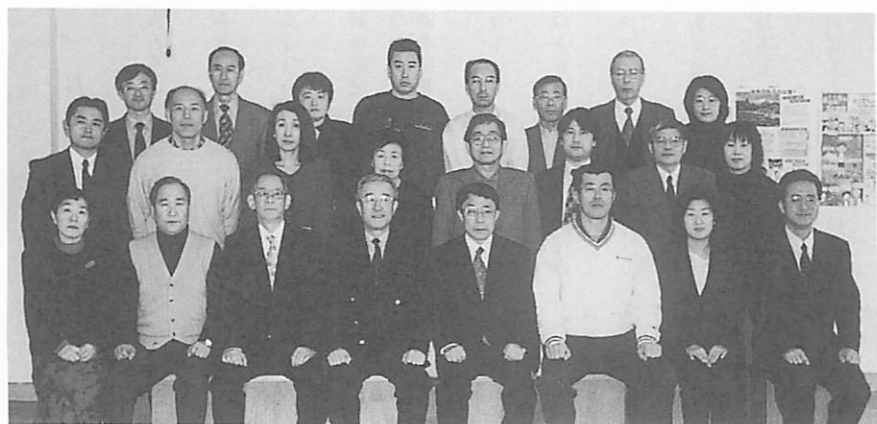
勉強中ドアに札かけ昼寝中

山村 明未

冬だけど日光変わらず暖かい

渡辺 清美





平成十二年度

# 教職員名簿

校長 佐野 武

教頭 山本 俊秀

教諭 越田 喜忠

大宅 剛

伊勢 健

笹谷 巖

笹原 五郎

渡辺 淳

鶴 宗三郎

養護 森 豊子

教諭 阿部 真美

菊地 康幸

桑野 健一

田中 篤子

佐藤 雅博

大山 裕香

山口 哲也

輪島 陽子

小林 巧平

相談員 今井 正夫

事務 相原 邦夫

事務 榎山 栄子

用務 高野 雄二

給食 山口 秀夫

給食 稲垣 良子

日直 高島 優



## 編集後記

編集委員長 井口 由紀乃

皆さん、今年の生徒会誌「五稜」はいかがでしたか。「五稜」を作成するために、編集委員会は11月から動きだしていました。そして、皆さんからたくさんのお原稿が集まり、このように立派に完成することができました。

「五稜」には、一年間の生徒会行事や学級生活のあゆみなどがまとめられています。また、たくさんのお思い出が詰まっています。今読んでも十分に楽しめるものですが、大人になつてから自分の青春時代を思い出すためにも、とても役に立つと思います。ですので生徒会誌三年分は、いつまでも大切に保管しておいて下さい。

そして、五稜中には卒業文集が存在しないので、三年生にとっては、これが卒業文集のようなものです。中学校生活での経験を糧にして、高校でも更に色々なことを経験しましょう。一、二年生も、一年を振り返り、今後の目標を立ててみて下さい。

最後に、忙しい中、一生懸命原稿を書いてくださった皆さん、ありがとうございました。



## 編集委員

△三年▽

井口 由紀乃

中谷 準

熊谷 宇見

大友 裕子

水戸部 有華

笹谷 雪絵

武田 真依

塚谷 桃子

△二年▽

藤島 直哉

寺内 真

多田 莉彩

石川 洋平

大塚 真衣

松田 なぎさ

水元 聖子

大内 ももこ

△一年▽

伊藤 祐樹

渡辺 結衣



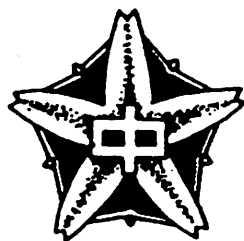
平成十二年度生徒会誌

「五稜」 第40号

発行日 平成十三年三月十五日

発行 函館市立五稜中学校生徒会  
印刷 有限会社 共立印刷

函館市吉川町六番六号  
電話〇二三八四三一七六五〇



函館市立五稜中学校生徒会